



第17回

日本医療マネジメント学会

# 愛知県支部 学術集会

日時

2023年**12月16日**(土)

10時30分~17時45分(受付開始10時15分)

会場

デザインセンタービル3階

**デザインホール**(名古屋市中区栄)

幹事病院

名古屋鉄道健康保険組合 名鉄病院

# Canon

高精細MRIでしか、  
見えない「世界」へ。

[ *High Power Gradient* ] × [ *AI* ]



Deep Learningを用いて設計したノイズ除去再構成技術搭載。  
High Power Gradientによる高精細画像とAI技術\*の併用により、  
医療現場の未来を拓く、  
ハイエンド3テスラ MRI装置 Vantage Centurian 誕生。

High Power Gradient 3テスラ MRI

## Vantage Centurian

【一般的名称】 超電導磁石式全身用MR装置  
【販売名】 MR装置 Vantage Galan 3T MRT-3020  
【認証番号】 228ADBZX00066000 【類型】 Vantage Centurian  
\*本システムは自己学習機能を有していません。

E000192

キヤノンメディカルシステムズ株式会社 <https://jp.medical.canon>

Made For life

## 目次

ご挨拶 .....	2
開催概要 .....	3
参加者の皆さまへのお願い .....	4
プログラム .....	5
【特別講演】抄録・講師ご略歴 .....	6・7
【ランチョンセミナー】抄録・講師ご略歴 .....	8・9
【一般講演】演題一覧 .....	10
抄録 .....	11～26
ご協賛 [一般] 名簿 .....	27・28
ご協賛 [広告] 名簿 .....	29・30
ご協賛 [展示] 名簿 .....	31
ご協賛 [ランチョンセミナー] 名簿 .....	32
広告 .....	33～55
日本医療マネジメント学会からのご案内 .....	56



## 会長ご挨拶

第17回 日本医療マネジメント学会 愛知県支部学術集会  
名鉄病院 副院長 竹田 欽一

この度、第17回日本医療マネジメント学会愛知県支部学術集会を担当させていただくことになりました。この学会開催にあたり、多くの方々のご尽力に感謝申し上げます。

さて、医療機関は新型コロナウイルス感染症の5類移行後もさまざまな問題に直面しています。医療提供体制の見直しや地域医療連携の強化など、多くの課題に取り組む中、アフターコロナにおける医療機関の持続的な発展と医療の質向上のための体制整備が重要となります。

このような環境下で、今回の学会テーマは「医療機関における働き方改革－ウェルビーイングを通じて実現するサステナブルな医療－」としました。医師の働き方改革の新制度が施行される中、医療現場の働き方改革に焦点を当てました。医療機関では労働時間管理と診療の両立、職員においては求められる役割の拡大による負担増やストレスの蓄積など、さまざまな課題がある中で、職員の健康と働きやすさを重視し、働き手にとっても医療機関にとっても最適な労働環境の整備に向けた具体的な取り組みについて、皆様と情報交換や意見交換ができればと考えています。

また、特別講演では、医師の働き方改革が医療機関に与える影響や医療業界の連携、将来の発展について、厚生労働省医政局で医師等の働き方改革についてご担当されている、藤川葵先生にご講演いただきます。

なお、今回の学術集会では、コロナ禍において見送られていたランチョンセミナーも開催いたします。さまざまな視点からの議論や情報共有を行い、より良い医療環境の実現に向けた一歩となることを期待しています。

最後になりますが、皆で共に学び合い、医療の未来に向けて貢献するとともに、この学会を有意義なものにするため、多職種の方々のご参加とご協力をいただければ幸いです。

# 開催概要

## 第17回 日本医療マネジメント学会 愛知県支部学術集会

### テーマ

医療機関における働き方改革

－ ウェルビーイングを通じて実現するサステナブルな医療 －

### 開催日時

2023年12月16日(土) 10:30～17:45 (受付開始10時15分)

### 開催場所

デザインセンタービル 3階 デザインホール

〒460-0008 愛知県名古屋市中区栄三丁目18番1号

### 会費

1,000円 (ランチョンセミナー 昼食代込)

※先着順でランチョンセミナー昼食券付参加券を受け付けます。200名限定

(ランチョンセミナー不参加であっても、参加費は変わりません。)

### ランチョンセミナー (12時15分～13時15分)

「医療DXへの挑戦 ～新病棟移転とコマンドセンター導入を通じて～」

社会医療法人ジャパンメディカルアライアンス 理事

海老名総合病院 副院長 兼 患者サポートセンター センター長 小泉 正樹 先生

GEヘルスケア・ジャパン株式会社

株式会社協栄メディカルサービス 共催

### 特別講演 (16時35分～17時35分)

「職場に笑顔を ～医師の働き方改革の制度が目指すもの～」

厚生労働省医政局医事課

医師等医療従事者働き方改革推進室室長補佐 藤川 葵 先生

### 一般演題

- |            |              |
|------------|--------------|
| 1. 医療の質の向上 | 6. 患者支援      |
| 2. 医療安全    | 7. 職員満足      |
| 3. チーム医療   | 8. 人材育成      |
| 4. 臨床倫理    | 9. 新型コロナ関連   |
| 5. 地域医療連携  | 10. 経営マネジメント |

### 大会長

竹田 欽一 (名古屋鉄道健康保険組合名鉄病院 副院長)

## 参加者の皆さまへのお願い

- ・ 学術集会会場 デザインセンタービル3階「デザインホール」です。
- ・ 会場内での飲食は可能です。
- ・ デザインホールを含め、ナディアパーク館内は全て禁煙です。喫煙される場合は指定場所(2階アトリウム南側ペデストリアンデッキ(屋外))でお願いします。
- ・ 持ち込みした飲料等のゴミは各自でお持ち帰り頂きますようお願い致します。
- ・ ナディアパーク共有で有料駐車場がありますが、休日等は入庫・出庫にお時間がかかる場合もありますので、余裕をもってご来場ください。また、駐車割引等のサービスはございません。
- ・ 学術集会中はスタッフの指示に従ってください。
- ・ 貴重品を含むお手回り品は、必ずご自身で管理してください。  
万一、盗難・紛失等の被害に遭われましても、事務局は一切の責任を負いかねます。お帰りの際はお忘れ物のないよう、座席の周囲を今一度ご確認ください。

### 参加者の皆さんの声をきかせてください

今後の学会運営に活用させていただくため、アンケートにご協力ください。

お手持ちのスマートフォンのカメラでQRコードを読み取っていただくと、回答ページ(Google Forms)が開きます。



※アンケートページへのアクセスに利用するインターネット通信料は、参加者のご負担となりますのでご了承ください。

## プログラム

テーマ： 医療機関における働き方改革

『ウェルビーイングを通じて実現するサステナブルな医療』

時間帯	内容
10:15～	受付開始
10:30～10:35 (5分)	【開会のことば】 第17回日本医療マネジメント学会愛知県支部学術集会会長 兼 愛知県支部理事 名古屋鉄道健康保険組合名鉄病院 副院長 竹田 欽一 挨拶
10:35～11:45 (70分)	【一般講演】(1ブロック：合計5演題 / 1演題：発表7分 質疑3分) ・ブロックA 10:35～11:45 (70分) テーマ：医療安全・地域医療連携・人材育成・経営マネジメント 座長：名鉄病院 看護部長 高橋 須磨子
11:45～12:15 (30分)	【休憩 (30分)】
12:15～13:15 (60分)	【ランチョンセミナー】 「医療DXへの挑戦 ～新病棟移転とコマンドセンター導入を通じて～」 社会医療法人ジャパンメディカルアライアンス 理事 海老名総合病院 副院長 兼 患者サポートセンター センター長 医師 小泉 正樹 氏  GEヘルスケア・ジャパン株式会社 株式会社協栄メディカルサービス 共催
13:15～13:30 (15分)	【休憩 (15分)】
13:30～16:20 (170分)	【一般講演】(2ブロック：合計11演題 / 1演題：発表7分 質疑3分) ・ブロックB 13:30～14:55 (85分) テーマ：地域医療連携・人材育成・経営マネジメント 座長：名鉄病院 副院長 竹田 欽一  【休憩 (15分)】 ・ブロックC 15:10～16:20 (70分) テーマ：医療の質向上・チーム医療・経営マネジメント 座長：名鉄病院 副院長 岡本 秀樹
16:20～16:35 (15分)	【休憩 (15分)】
16:35～17:35 (60分)	【特別講演】座長：名鉄病院 病院長 葛谷 雅文 「職場に笑顔を ～医師の働き方改革の制度が目指すもの～」 厚生労働省医政局医事課医師等医療従事者働き方改革推進室室長補佐 医師 藤川 葵 氏
17:35～17:40 (5分)	【閉会のことば】 日本医療マネジメント学会 愛知県支部長 トヨタ記念病院 病院長 岩瀬 三紀 挨拶
17:40～17:45 (5分)	【次回大会長挨拶】 次年度学術集会会長 日本赤十字社愛知医療センター 名古屋第一病院 副院長 水野 公雄 挨拶

## 特別講演

### 「職場に笑顔を ～医師の働き方改革の制度が目指すもの～」

厚生労働省医政局医事課 医師等医療従事者働き方改革推進室  
室長補佐 藤川 葵氏



我が国の医療は、強い使命感の下で地域の医療を支える医師の自己犠牲的な長時間労働により支えられてきた現状がある。今後を見れば、医療の高度化の進展、少子化に伴う医療の担い手の減少も予想される中で、医師個人への負担は更に増加することも考えられる。

このような中、医師が健康に働き続けられる環境を整えることは、医師本人の健康の確保のみならず、国民に対して提供される医療の質や安全を確保することにつながり、医療を支える多様な人材の確保にもつながる。こうした取組は、我が国において良質で適切な医療を提供する体制を持続可能なものとしていく上で極めて重要である。

2021年5月に成立した改正医療法では、こうした取組を進めるべく、医師の働き方改革を進めていく上で併せて取り組むべき地域医療提供体制の改革、チーム医療やタスク・シフト/シェアの推進のほか、医師の時間外・休日労働の上限に関する内容が定められた。この間、様々な仕組みの詳細も定められ、いよいよこの上限が2024年4月から適用されることとなる。

医師の働き方改革を進めるに当たって、最初に医療機関にとって必要となる医師の勤務実態の把握は、各医療機関の取組により、この1年で大きく進捗してきた。引き続き、トップの強いリーダーシップの下で関係者の参画/理解を得ながら、医師以外の他職種を含めて医療機関全体で、2024年4月以降のあり方も視野に入れながら、適正な労務管理の徹底、労働時間の短縮に計画的に取り組んでいただくことが重要になる。そして、医療機関としての取組が進捗する中で、益々、医師個人にも、自らの働き方が、提供する医療の質や安全にも影響し得るという認識の下で、その他の医療従事者と手を取り合い、その働き方に1人ひとり向き合っていただくことが重要となってくる。

医師の働き方改革の議論の開始以降、既に6年近くが経過する中で、様々な医療機関、診療分野で働き方改革の取組が進められている。厚生労働省としても、医師労働時間短縮計画の作成、医療勤務環境評価センターの評価、追加的健康確保措置の体制確保など、様々

な取組の中で医療機関が直面する課題に向き合いながら、今後も地域医療提供体制を担う各都道府県とも連携しながら、また、医療勤務環境改善支援センターによる助言等も通じながら、確実に医療機関の取組を支援していく。

### 略歴(藤川 葵)

2011年	久留米大学医学部卒業 聖路加国際病院外科系臨床研修医
2013年	聖路加国際病院 消化器・一般外科 専攻医
2016年3月～2018年3月	聖路加国際病院 消化器・一般外科 チーフレジデント
2018年4月	聖路加国際病院 消化器・一般外科 フェロー
2019年4月～2021年1月	聖路加国際病院 消化器・一般外科 医員(救急・肝胆膵)
2020年4月	聖路加国際大学公衆衛生大学院入学
2021年2月～現在	厚生労働省医政局医事課
2022年3月	聖路加国際大学公衆衛生大学院卒業(公衆衛生学修士)

## ランチオンセミナー

### 「医療 DX への挑戦

### ～新病棟移転とコマンドセンター導入を通じて～」

社会医療法人ジャパンメディカルアライアンス 理事  
海老名総合病院 副院長 兼 患者サポートセンター  
センター長 小泉 正樹 氏



海老名総合病院は人口 84.5 万人の神奈川県の中核二次医療圏に位置し急性期医療を担う 479 床の施設である。

人口動態予測による医療需給は今後も増加が見込まれる地域であり、需要の割に医療機関や医療従事者が少ない。

コロナ禍において応需請も増加したが、入院依頼の紹介に答えきれていないという課題があった。

ベッドコントロールを改善するために入退院支援の医療 DX ツールの必要性を痛感し、GE ヘルスケア社のコマンドセンターを導入した。

ほぼ同時に新病棟への移転もあり、それ以前は病床稼働率が 85% を超えると病床調整が困難だったが、コマンドセンター導入後は 90% を超えても順調にコントロール出来るようになった。

朝のベッドコントロールミーティングも効率化され、病棟間はもちろんのこと、多職種間のコミュニケーションが活発になるなど様々な人の動きや意識の変革（医療 DX）が進みつつある。本セミナーではこのような医療 DX への試みとその効果を紹介したい。

## 略歴

1972年 8月31日生

日本医科大学医学部	1998年卒
1998年 5月	日本医科大学付属第2病院(現:武蔵小杉病院)研修医
2000年 4月	日本医科大学付属第2病院(現:武蔵小杉病院)消化器病センター 医員
2001年 1月	八丈町立八丈病院 外科
2001年 4月	日本医科大学付属第2病院(現:武蔵小杉病院)消化器病センター 医員
2001年 7月	医療法人社団仁愛会(現:社会医療法人ジャパンメディカルアライアンス) 海老名総合病院 外科
2002年 8月	日本医科大学付属第2病院(現:武蔵小杉病院)消化器病センター 医員
2002年12月	日本医科大学付属第2病院(現:武蔵小杉病院)消化器病センター 助手
2006年 1月	さいたま県立がんセンター 消化器外科 医員
2007年 4月	さいたま県立がんセンター 消化器外科 医長
2007年10月	日本医科大学武蔵小杉病院 消化器病センター 助教
2008年 1月	八丈町立八丈病院 外科
2008年 4月	日本医科大学武蔵小杉病院 消化器病センター 助教
2010年 1月	台東区立台東病院 外科
2011年 4月	社会医療法人ジャパンメディカルアライアンス 海老名総合病院 外科 医員
2014年 4月	社会医療法人ジャパンメディカルアライアンス 海老名総合病院 外科 医長
2018年10月	社会医療法人ジャパンメディカルアライアンス 座間総合病院 外科 部長代理
2019年 6月	社会医療法人ジャパンメディカルアライアンス 理事 海老名総合病院 副院長

## 一般演題一覧

- A-1 安全文化調査結果を活用した安全文化醸成に向けた取り組み  
藤田医科大学病院 外海 祐輔
- A-2 Rapid Response System (RRM) を院内職員に浸透させるための取り組み  
～持続可能な院内救急体制の確立を目指して～  
日本赤十字社愛知医療センター 名古屋第二病院 角 由美子
- A-3 ポストアキュート患者を受け入れるための看護師の転院前訪問の成果  
稲沢市民病院 森 明美
- A-4 訪問看護社会インフラに向けた活動  
～訪問看護ステーションが実践した病院への報告会を通して考える、よりよい地域づくりとは～  
みんなのかかりつけ訪問看護ステーション 森田 恭平
- A-5 REDUCTION OF SURGERY REPLACEMENT TIME ～手術入れ替え時間の短縮～  
トヨタ記念病院 日比野 友紀
- B-1 地域医療連携システムを活用した営業活動  
医療法人偕行会 名古屋共立病院 渋谷 太郎
- B-2 「知多半島中部における持続可能な医療提供体制確保の取り組み」  
半田市立半田病院 森本 英樹
- B-3 地域に求められる連携を目指して ～やごと感染制御ネットワークのこれから～  
日本赤十字社愛知医療センター 名古屋第二病院 前田 巧真
- B-4 病院薬剤師の魅力発信を目的とした薬学生対象オンラインセミナー実施報告  
独立行政法人国立病院機構 名古屋医療センター 薄 雅人
- B-5 新型コロナ対応の経験から組織の課題とマネジメントを考える  
名古屋鉄道健康保険組合 名鉄病院 齋場 三季
- B-6 職員安否確認システムを活用した災害時の情報伝達と働き方  
日本赤十字社愛知医療センター 名古屋第二病院 野村 哲郎
- C-1 資格取得支援制度における医療の質の向上への取り組み  
社会医療法人宏潤会 大同病院 石原 あすか
- C-2 「退院時サマリーの標準化を用いた院内の取り組み」  
半田市立半田病院 小林 瑠夏
- C-3 医師の働き方改革を目的としたタスクシフトが臨床工学技士にもたらした効果  
愛知県農業協同組合連合会 安城更生病院 山本 康数
- C-4 当院における診療放射線技師のタスクシフトの現状  
半田市立半田病院 喜多野 真紀
- C-5 小牧市民病院の働き方改革 ～2022年度より本格始動～  
小牧市民病院 津坂 英彦

## A-1

## 安全文化調査結果を活用した安全文化醸成に向けた取り組み

○外海 祐輔、伊東 昌広、井出 真理子  
藤田医科大学病院

**【はじめに】**

医療における安全文化とは医療に従事する全ての職員が、患者の安全を最優先に考え、その実現を目指す態度や考え方及びそれを可能にする組織のあり方と定義される。当院は2017年度から安全文化調査を実施していたが、結果を十分に活用できていなかった。2022年度から安全文化調査結果を活用し、各部署に1名ずつ配置される医療安全推進者（セーフティマネージャー：SM）を中心とした部署の安全文化醸成に向けた取り組みを開始したため、報告する。

**【方法】**

- ①各部署に部署の安全文化調査結果を配布。
- ②各部署 SM に調査結果から部署課題の抽出および活動計画を立案し、安全管理室に提出。
- ③ SM 連絡会で部署から提出された内容を元に課題や活動計画などを共有。

安全管理室は上記の流れを利用し、年間を通して SM が部署の安全文化醸成に向けた取り組みが行われるように支援した。

**【結果】**

部署の課題抽出、活動計画は83.5%（診療科：67.6%、看護部：92.7%、コメディカル：93.8%）提出され、安全文化醸成に向けた活動が多くの部署で開始されたことを確認した。各部署が課題と考える安全文化は「人員配置」「部署内でのチームワーク」「エラー後のフィードバック」「オープンなコミュニケーション」が多く挙げられた。また、SM 連絡会では2023年度10月までに18部署が課題となる文化の改善に向けた活動を発表し、共有した。

**【考察】**

安全文化調査結果を活用した活動は中央部門で課題を検討し、取り組むことは他施設でも報告が散見される。しかし、自部署の結果を踏まえ、自ら検討することは日常診療の課題を安全文化の視点で捉え、部署独自の対策や安全文化醸成に有意義と考える。

## A-2

Rapid Response System (RRS) を院内職員に浸透させるための取り組み  
～持続可能な院内救急体制の確立を目指して～

○角 由美子

日本赤十字社愛知医療センター 名古屋第二病院

**【背景】**

RRSを導入し約5年が経過した。限られた職員配置で持続可能な院内救急体制の確立を目指した取り組みを報告する。

**【実践内容】**

1. 起動基準に早期警告システム (MEWS) を用い、7点以上をコール基準とした。2. MEWSを電子カルテ上で簡単に算出できるシステムを構築した。3. MEWS 5点以上の患者を対象に1回/週のラウンドを行った。医師 (麻酔科、救急科、循環器内科、脳神経外科、総合内科)、看護師 (認定・専門看護師、診療看護師)、臨床工学技士、理学療法士で当番制とし3職種3名のチーム編成とした。

**【結果】**

看護師からは起動基準が分かりやすくなったという意見が聞かれた。MEWSの導入前と比べて看護記録に呼吸数が記載できるようになった。ラウンド時の意見交換によって、治療方針が再検討されたり、家族への説明が追加されることがあった。また、ラウンドメンバーの得意分野を活かして人工呼吸器に関することやポジショニングに関するベッドサイドでの教育の機会にもできた。ラウンドを契機にICU入室できた事例もあった。夜勤師長が各病棟の重症患者を把握するためのツールとしてMEWSを使用するようになり、始業時にカルテから情報収集するようになった。2020年度と2022年度を比すると、新規入院1000人あたりのRRS起動件数は3.4から5.2に増加した。予期せぬ心停止は0.96から0.96と変化を認めなかった。

**【考察】**

起動基準が明確となり起動件数が増加した。ラウンドは1回/週ではあるが、教育の機会ともなりRRSやMEWSの周知につながった可能性がある。MEWSというマルチパラメータを選択したことで、1つの計測値だけでなく、複数のパラメータで患者の状態を判断するという思考過程を看護師に教育する機会にもなったと考えられる。MEWSが徐々に職員に浸透し活用する場面が増えている。一方で、予期せぬ心停止が減少していないことは課題である。

## A-3

## ポストアキュート患者を受け入れるための看護師の転院前訪問の成果

○森 明美、遠藤 直美、宇野 由希子、川村 聡美、末次 英覚、小楠 理恵、  
大橋 智美、住田 千鶴子  
稲沢市民病院

**【背景】**

平成 28 年 3 月地域包括ケア病棟 46 床を開設し、5 年間院内の急性期病棟からの転棟を受け入れる役割を担い、院外入院率は約 10%と低いまま経過していた。令和 4 年度診療報酬改定を受けて、在宅のサブアキュート患者、近隣市の急性期病院からのポストアキュート患者、地域のレスパイト入院を受ける体制を整えた。これらの患者は高齢者であり、急激な病状悪化や、患者・家族の治療方針や看護に対する受け止めのずれ、病院間の連携不足によるトラブルが発生するようになった。

**【目的】**

他院からのポストアキュート患者をシームレスに受け入れる。

**【方法】**

令和 5 年度よりポストアキュート入院患者は、病棟看護師長と受け持ち看護師が入退院支援センター看護師と共に、前病院へ訪問して患者や家族、看護師と事前面談を行う。面談内容は、病状の受け入れ状態、患者の望み、転院後の入院生活についてなどである。

**【結果】**

令和 4 年度のポストアキュートの受け入れは 74 件と前年度の 25 件から大きく増加した。令和 5 年度も 9 月までの上半期で 43 件のポストアキュートを受け入れている。訪問実施後、転院患者からの苦言、病状悪化時のトラブルはなくなった。令和 4 年 8 月からの院外入院率は、入院患者の COVID-19 感染のために患者の受け入れを中止した 12 月以外はすべて 40%を超えた。

**【考察】**

他院で急性治療を経た患者を受け入れる場合、主治医や受け持ち看護師が変わり、それまでの治療方針や看護とのギャップが生じやすい。当院では対応できず、近隣市へ救急搬送され、急性期治療を受けた患者・家族が住み慣れた地域に戻れるように、転院前から看護師が訪問して情報共有をすることで、患者や家族の不安と病院間の連携不足によるトラブルを軽減していると考えられる。

A-4

訪問看護社会インフラに向けた活動

～訪問看護ステーションが実践した病院への報告会を通して考える、よりよい地域づくりとは～

○森田 恭平、金伍 彩

みんなのかかりつけ訪問看護ステーション高畑店



【背景】

余命が限られた時、7割が自宅での暮らしを希望するが、名古屋市内での在宅看取り率は2割に満たない。これは多くの方の希望する暮らしが叶えられていないことを意味する。希望を叶える為には病院と地域が一丸となる必要があるが、病院関係者には退院後の暮らしが見えず、地域には退院支援に関する病院の課題が見えない。

【目的】

本研究では「退院支援に関する課題」と「報告会の効果」を分析することで、地域連携をより進化させる一助とする。

【方法】

病院への報告会后、2施設の医師2名、看護師・セラピスト9名、医療相談員2名を対象にアンケート調査（自由記載）を実施。課題：①自宅退院を希望しても退院できない課題②自宅退院を希望した際の医療者の不安。報告会の効果：③報告会を機に在宅への印象が変わったこと④退院支援の変化。

【結果】

①家族、在宅サービス、患者、医師、知識不足。②退院後の生活、患者家族の理解、介護負担、物理的環境、入退院を繰り返す。③在宅への安心感・力・幸福感（77%）、希望を尊重（15%）、自己研鑽（8%）④自宅退院を前向きに検討（25%）、症例の提示（25%）、在宅理解が深まる（25%）、積極的な連携（17%）、医師の変化（8%）。

【考察】

退院調整時病院関係者は、退院後の生活や患者家族の理解に不安があるが、報告会後にはその不安は軽減され、在宅への安心感が得られた。このことから患者の暮らしが見えたことで、在宅への印象に変化が生じ、自宅退院を前向きに検討しようと心境に変化が生じたのだと考える。今後は積極的に報告会を行い、病院関係者に退院後の暮らしを伝え効果的な退院支援に繋げたい。

1. 自宅退院が出来ない素因		2. 医療者の不安		3. 在宅への印象の変化		4. 退院支援の変化	
家族	6	患者家族の理解度	5	在宅の幸福感	1	前向きに検討	3
患者	3	物理的環境	1	在宅への安心感・必要性	6	事例の提案	3
在宅サービス	6	介護負担	2	在宅看取りを叶えたい	2	地域と積極的に連携したい	2
医師	1	なし	1	自己のケア	1	医師の変化	1
スタッフの知識不足	1	退院後の生活・サービス	6	在宅の力	3	地域理解が深まった	3
		入退院を繰り返す	1				

A-5

## REDUCTION OF SURGERY REPLACEMENT TIME ～手術入れ替え時間の短縮～

○日比野 友紀、田川 志織、渡邊 彩、田野辺 和美  
トヨタ記念病院

### 【背景】

2022年の病院方針で病院経営強化のために、手術件数の増加が期待されていた。2023年5月に病院の移転を控える中で、月70件程度の手術件数の増加をしなければならない状況であった。その中で、手術と手術の間の入れ替え時間（以下入れ替え時間とする）を短縮することで少しでもより早く、多くの手術対応が可能になり、手術件数の増加につながるのではないかと取り組んだ。

### 【目的】

手術間の入れ替え時間の短縮と業務の重複の削減を目的とした。

### 【方法】

QC手法を活用し、真因を導き出し、3つの対策を実践した。①入れ替えを実施するスタッフを中心としたシステムの構築：業務リーダーが入れ替え時に指揮をするリーダーを指名し、より現場レベルで速やかにかつ責任をもって入れ替えれるようにした。②どの年代のスタッフでも実践できるようにマニュアル作成し、部屋に貼付し、すぐに確認できるようにした。③入れ替え業務のチェックリストの見直し：入れ替え時の優先順位を検討し、チェックリストを作成し直した。

### 【結果】

入れ替え時間は10分短縮できた。また、委託業者と看護師の入れ替え時の業務の重複は、4%まで削減できた。

### 【考察】

入れ替え時間の短縮のため、業務の見直しを実施したが、その過程で看護師と委託業者で重複した業務が多いことに気づくことができた。重複業務の削減に焦点を当てたことで無駄な業務が減り、入れ替え時間の短縮につながったと考える。今後は、新病院に移転し、システムや環境が変化しているため、今回実施したシステムを活用しつつ、より、入れ替え時間が短縮できるような工夫を実践していくことが必要である。

B-1

## 地域医療連携システムを活用した営業活動

○渋谷 太郎、加藤 哲也、滝川 幸則

医療法人偕行会 名古屋共立病院 地域医療連携部

### 【背景】

一般的な販売などの営業業界ではCRM（顧客管理）システムは多く導入されているが、医療業界では導入事例は少ない。今回、当院は地域医療連携システムを導入し、営業活動の効率化と数値のみえる化に取り組んだ。その使用経験と事例について検討を行った。

### 【目的】

地域医療連携システムの搭載機能を活用し「データ」に基づいて営業活動をすることで業務効率を上げる。

### 【方法】

地域医療連携システムの搭載機能の中でマップ機能・データ表示機能・過去の訪問記録機能を活用した。マップ機能を用い、当院から半径3キロ圏内のクリニックと紹介が一定数あるクリニックをデータ表示機能にて検索した。

その中で前年度より紹介件数が大きく減少しているクリニック及び、近隣だが紹介があまり伸びていないクリニックを抽出した。抽出した医療機関のデータや過去の訪問記録を参考に営業活動を行った。

### 【結果】

一部のクリニックでは紹介件数が前年度より約40%増加し、データに基づいた営業ターゲット設定が有用であることが確認できた。

### 【考察】

従来は画一的に営業活動を行っていたが、地域医療連携システムを活用する事により、訪問営業の頻度や強度の調整を行うことで、訪問すべきクリニックを明確化したことで効率が上がり紹介件数増加につながったと示唆される

## B-2

## 『知多半島中部における持続可能な医療提供体制確保の取り組み』

○森本 英樹、大塚 泰郎、永井 徹、石川 大介、別府 慶則、波多野 哲也、  
奥山 雄輔、土川 務、服部 幸代  
半田市立半田病院 医療情報管理室

**【背景】**

公立病院において医師・看護師等の不足、人口減や少子高齢化の急加速な進展に伴い医療需要の変化、医療の高度化といった経営環境の急激な変化等を背景とする厳しい環境が続いており、持続可能な地域医療提供体制を確保していく必要がある。

**【目的】**

現在までの経緯を振り返り、今後の取り組みを再認識する。

**【方法】**

知多半島総合医療機構設立準備会議のメンバーが中心となり、関係各所への調整を図りながら本プロジェクトを進める。

**【結果】**

令和元年度に「半田市立半田病院・常滑市民病院統合会議」を立ち上げ、半田市立半田病院と常滑市民病院の経営形態、地域医療構想を踏まえた診療機能等について議論を深めてきた。議論を踏まえて、令和2年度に「半田市と常滑市の病院経営に関する協定書」を締結し、両病院の診療統合及び経営統合を実現するため、令和7年4月に半田市と常滑市で地方独立行政法人を設立することとなった。

**【考察】**

新たに設立する地方独立行政法人知多半島総合医療機構により知多半島総合医療センター（現半田病院）、知多半島りんくう病院（現常滑市民病院）を運営し、地域医療の中核を担い、知多半島の人々の健康を支え続ける、という理念のもと、急性期から回復期まで切れ目のない医療の提供、医療従事者の確保、人事管理の弾力化、診療機能分担、弾力的な予算執行による効率的な病院運営の実現に向け取り組んでいく。

B-3

## 地域に求められる連携を目指して

## ～やごと感染制御ネットワークのこれから～

○前田 巧真、高木 真理子、清水 紀子、富田 ゆうか、吉田 幸彦  
日本赤十字社愛知医療センター 名古屋第二病院



## 【はじめに】

2022年度の診療報酬改定により、外来感染対策向上加算及びそれに係る各種加算が新設され、従来の病病連携だけでなく、病診間の連携強化も重要となった。

当院は感染管理室にて感染防止対策加算1・2を算定する医療機関と連携していたが、感染対策向上加算への名称、要件の変更及び前述加算の新設に伴って、算定に向けた診療所との連携関係の構築が急務であった。地域の先生方からも多数の問合せや、連携を希望する声をいただいていたことから、2022年3月「やごと感染制御ネットワーク」を立ち上げた。

## 【取り組みと結果】

「やごと感染制御ネットワーク」は連携医への円滑な情報提供と加算算定要件に係る当院窓口の明確化を目標としており、地域医療連携室は、広報紙やHP上での動画・資料を用いた情報提供、算定要件にあたるカンファレンスの運営、連携強化加算算定要件である報告の集計などを担当している。

円滑な情報提供のため、感染制御部長、医事業務課長を院内各部署の担当とし、院内連携を密としている。また、全てのカンファレンス、報告をWEB上にて完結させるなど、参加者の利便性向上に取り組んでいる。カンファレンスは2022年度第1回114施設、第2回71施設、第3回69施設、2023年度は第1回71施設、第2回64施設から申込みがあり、連携強化加算では2023年10月時点で44施設の先生方に連携いただいた。

## 【まとめ】

本ネットワークには連携医から肯定的な意見を頂戴しており、患者紹介においてもプラスになったと考える。運用方法の確立後は、地域医療連携室として新規開業医に対しても本ネットワークの紹介を推進していきたい。

B-4

## 病院薬剤師の魅力発信を目的とした薬学生対象オンラインセミナー実施報告

○薄 雅人、平島 学、小崎 華、吉田 知由  
独立行政法人国立病院機構 名古屋医療センター

### 【背景】

第8次医療計画の作成指針に薬剤師確保策を講じることが初めて盛り込まれ、厚生労働省から病院薬剤師の偏在指標が示されるなど病院薬剤師不足が問題になっている。新型コロナウイルス感染症の蔓延は、薬学生のキャリア形成にも大きな影響を与えた。11週間の病院実習に制限がかかり、病棟等での実務実習ができない施設も多く、薬学生が病院薬剤師に興味を持つきっかけそのものが減少していた。このような状況の中、病院薬剤師の働き方をリアルに伝え、病院薬剤師の魅力を発信する必要性を感じた。

### 【目的】

オンラインセミナーを通して薬学生の病院薬剤師への興味を醸成し、病院説明会、病院見学などに参加する意欲を高め、就職応募数増加を期待して「けっこういいぞ！！NHO」を開催したので報告する。

### 【方法】

前半パートは5名の薬剤師による講義形式で行った。後半パートは事前に収集した薬学生のからの質問に、座長2名を加え7名の薬剤師がディスカッション形式で回答した。オンラインセミナーの事前・事後アンケートおよび応募状況を調査した。

### 【結果・考察】

参加応募は23大学から64名事前登録され、当日参加した学生は56名、そのうち46名からアンケートの回答を得た（回収率82%）。セミナーの満足度は満足77%、やや満足23%と高い満足度であった。満足度の理由からも、薬学生のニーズにあった有用性の高いセミナーと考えられた。今年度はライブ、オンデマンドセミナーを組み合わせた開催を計画しているが、薬学生への開催告知方法に課題がある。オンラインセミナーの利点を活かし、全国の大学からNHO志望者を増やすことにより、質の高い薬剤師の採用に繋げていきたい。

B-5

## 新型コロナ対応の経験から組織の課題とマネジメントを考える

○齋場 三季、野田 友則

名古屋鉄道健康保険組合名鉄病院 感染制御対策室



2020年に始まった新型コロナウイルス対応は、感染制御部門だけでなく、院内全体での対応が余儀なくされた。現在新型コロナウイルスは、感染症法上5類相当に位置付けられ、通常医療の一部となったが、今後も新興感染症は10年に1度起こると言われており、更には、南海トラフ地震や豪雨などによる大規模災害の発生も懸念されている。通常医療を揺るがす危機的状況では、院内全体での組織的な感染管理が必要となることが想定されるが、その際には迅速で効率的な組織マネジメントが求められる。

今回我々は、当院の新型コロナ対応について、マッキンゼーの7Sを使用して振り返りを行った。マッキンゼーの7Sとは、組織を運営する上で必要となる経営資源を、「戦略：Strategy」「組織構造：Structure」「システム：System」「スキル：Skill」「人材：Staff」「スタイル：Style」「共通の価値観：Shared Value」の7つに分類して考えることで、組織の課題やそれぞれの相互性を把握するフレームワークである。感染管理からの視点、対策チームメンバー、各部署責任者からのアンケート調査で得られた視点を合わせて分析すると、システムや人材を中心に、組織としての課題の一旦が見えてきた。

発生する事象の種類や規模によって、求められる組織の形は一つではないが、今回明らかとなった課題を、今後の組織マネジメントの一助とすることは意義深いと考える。今後は、強みとして見えた部分は強化し、課題に対しては真摯に向き合って、平時から実践可能な対策の検討につなげていきたい。

## B-6

## 職員安否確認システムを活用した災害時の情報伝達と働き方

○野村 哲郎、藤居 靖幸

日本赤十字社愛知医療センター 名古屋第二病院

**【背景】**

当院では、自主登院基準（県内で震度6弱以上の地震が発生）を設け、発災直後は多くの職員が参集するが、発災初期に参集した職員が多いほど、フェースが進行するにつれて勤務可能な職員が減っていく。

勤務可能な職員の減少あるいは偏りは、医療の提供に支障をきたす恐れがあるため、これを解消する策を講じる必要があると考えた。

**【目的】**

今年度から新たに導入した安否確認システム「オクレンジャー（株）パスカル」の機能の一つに「グループ管理機能」が搭載されており、これを活用することで懸案事項の解決を図れないか模索した。

**【方法】**

グループ管理機能は、所属長の部署内における権限が最上位（システム管理者と同等）となり、部下の安否状況の確認や個別メッセージの配信等が可能となる。

各所属長にこの権限を付与し、災害時にシステム管理者を介さず部下とやり取りができる設定をした。

**【結果】**

災害発生時に本機能を用いて勤務シフトを組み直すことで、参集人数を平準化したり、一時的なマンパワーの最大化を図れるようにしたりと部署ごとに継続的な勤務計画を立てられるようになる。このことは長期的（持続的）な医療提供の一助になると考えている。

**【考察】**

職員全員が登録しなければ機能が発揮されないため、9月までに登録率を100%とすることを目標に周知活動を展開した。定期的（1～2週間間隔）に未登録者を洗い出し、所属長を通じて登録を依頼することで10月には登録率98.3%を達成（休職者を除く）した。

今後の課題としては、オクレンジャーを身近に感じてもらえるよう平時においても情報伝達のツールとして活用を模索していく必要があると考えている。

C-1

## 資格取得支援制度における医療の質の向上への取り組み

○石原 あすか、堀 真也、岩田 佳大  
社会医療法人宏潤会大同病院 人事企画室

### 【背景】

2024年4月から勤務医にも時間外労働の上限規制が適用されることに加え、医療従事者の勤務環境の改善が課題となっている。当法人でも医師をはじめとする長時間労働抑制のため様々な取り組みを行っており、以前に比べ長時間労働者の職員数は減少したものの、いまだ上限規制を一部の職員がクリア出来ていないのが現実だ。そこで医療の質の向上の観点から改善できることはないか検討を行った。

### 【目的】

医療従事者のスキルアップを法人が支援することにより、さらに専門性を上げることで、医師および看護師の働き方改革を促進し、さらなる医療の質の向上を目指す。

### 【方法】

まず、法人として必要な資格を職種別にピックアップして4つの資格（法人サポート資格、必要資格、ベース資格、小サポート資格）に分類した。当制度に登録されている資格および研修であれば費用全額を法人で支援し、資格取得向上に寄与した。また、啓蒙活動として資格取得を促すよう定期的に周知をした。さらに資格取得に対しインセンティブを与える制度としてブラッシュアップし、一部の資格について手当支給の対象とした。

### 【結果】

2021年11月より当制度を施行し、年度末までに18件の申請を受理した。2022年度は64件の申請があり、前年比1.48倍の申請があった。さらに資格取得数引き上げのために手当支給を開始した2023年度においては前年度を上回るペースで申請を受理している。

### 【考察】

制度導入より3年を迎え、当制度に対する職員の認知と理解を進めることができた。特に入社10年目までの若年層からの申請が半数以上を占めており、当制度の目的である医療の質の向上に寄与している。長時間労働への波及効果は目に見える形で現れてはいないが、継続的に制度を支援していくことで個々の専門性の向上を図り、タスクシフト／シェアを可能にできる環境を整えていきたい。

## C-2

## 『退院時サマリーの標準化を用いた院内の取り組み』

○小林 瑠夏、大塚 泰郎、森本 英樹、東 葵衣、杉澤 侑佳、磯村 円香、  
角谷 美波

半田市立半田病院 医療情報管理室 診療録担当

**【背景】**

退院時サマリーは、多施設情報共有や PHR の原資として重要性に鑑みて、2019 年の HL7 CDA R2 に加え、2022 年 3 月より HL7 FHIR による規格も厚生労働省標準として認定された。

今後に向けて、当院として退院時サマリーの作成率・質の向上を図る必要がある。

**【目的】**

記載に時間を要することを問題点とした。退院時サマリーは主治医の覚え書きではなく、患者の入院期間の状態を他の医療職に簡潔に伝えるために、必要な患者情報を遅滞なく速やかにまとめたものである。標準化したことで、必要な情報を漏らさず項目を記載することが出来るようになったので報告する。

**【取り組み内容】**

当院は富士通のパッケージ HOPE EGMAIN-GX V02-V07 対応版を使用している。

退院時サマリー作成においては電子カルテとの情報連携が重要であると考えられる。電子カルテのツールの使い方やテンプレートの使用を各科へ提案し、運用を開始した。

**【結果 考察】**

取り組みをした期間 2022 年 10 月→2023 年 9 月の結果が以下の通りである。

1 週間サマリー作成率：95.5%→99.8% (+4.3%)

退院日サマリー作成率：21.6%→26.1% (+4.5%) それぞれ上昇した。

医師における業務負担として、挙げられることが多いのが退院時サマリーの作成。そのなかでも記載量が多い入院後臨床経過は、電子カルテ上での情報連携やテンプレート整備が有用な手段である。記載内容・場所が明確になったことで、症例登録などの情報収集が容易になり、診療情報管理士・医師事務作業補助者の業務も円滑に進み、負担軽減につながった。今後も、診療情報管理士として医療職側への手助けをし、利用促進ができるよう努めていきたい。

## C-3

## 医師の働き方改革を目的としたタスクシフトが臨床工学技士にもたらした効果

○山本 康数、水元 亨、工藤 啓示、山口 正輝、形川 誠弥、寺本 一喜、蟻塚 芽、  
山本 彩加、中沖 麻由佳  
愛知県農業協同組合連合会 安城更生病院 臨床工学室

**【背景】**

医師の労働環境改善と健康確保を目的とした医師の働き方改革関連法案が適用される2024年4月が迫る中、医師業務の一部もしくは協働実施するタスクシフト・シェアが様々な職種で検討、議論がされてきた。タスクシフトが当院の臨床工学技士（以下：CE）にもたらした効果と実績について報告する。

**【目的】**

医師の時間外業務の削減と当直明け確保を目的に、新たな業務としてスコープオペレータ業務、アンギオセカンド業務、心臓血管外科手術における清潔野介助を実施した。いずれも行為も医師業務であったため、直接的な業務軽減となる。

**【方法】**

働き方改革を推進する会議において法律改正により追加される業務を含むCE業務を宣伝した。タスクシフトに対して主体性のある診療科を中心に、規模や内容を精査して取り組む項目を設定した。対象とした診療科カンファレンスに出向き、医師にタスクシフトの意義や効果について周知を行った。効果についてはアンケートを実施して検証した。

**【結果】**

タスクシフトにより医師の時間外業務の削減と当直明けの確保に貢献で出来た。圧倒的なスピードと熱量を持ってタスクシフトを進めたことで医師が主体性となったスムーズな業務移行が可能となった。また適時なアンケート実施による効果を実証できた。

**【考察】**

医師の働き方改革を目的としたタスクシフトは時間外業務の軽減、当直明けの確保に貢献するばかりでなく、医師からの直接的な指導や行為に対する感謝がスタッフの承認欲求を満たすこととなり、CE組織は好循環の恩恵を受けることとなった。このようなチャンスを活かしつつ、日常的な業務を通して継続した成長と気概ある組織づくりを今後も目指す予定である。

## C-4

## 当院における診療放射線技師のタスクシフトの現状

○喜多野 真紀、水口 敬、徳留 晃、天野 早加  
半田市立半田病院 放射線技術科

**【背景】**

医師の働き方改革や各医療関係職種の専門性の活用などを推進するため、2021年10月に新たな放射線技師法が施行された。これにより、造影剤を使用した検査やRI検査のために静脈路を確保する行為、RI検査医薬品の投与が終了した後に抜針および止血を行う行為などが診療放射線技師に認められた。

**【目的】**

看護師の業務負担を軽減するため院内におけるタスクシフトを推進し、放射線技師が静脈路の確保や検査後の抜針・止血を行う体制の確立を目指す。

**【方法】**

新たな放射線技師法で定められた行為を行えるようにするため、厚生労働省によって定められた告示研修の受講を開始した。また医療安全マニュアルを作成し、「放射線技師のできる業務・できない業務の明確化」、「静脈路確保業務の手順」、「副作用に対する院内での運用」などを定めた。

実際の静脈路確保業務の研修については、看護局に依頼して院内研修を行い、看護師立ち合いのもとで患者に対して静脈路確保業務を開始した。5回以上実施した技師に対して確認テストを行い、合格した技師は一人での静脈路確保業務を可能とした。

各検査において放射線技師が静脈路確保業務を行った割合を調べ、以前の看護師の業務量との比較を行った。

**【結果】**

令和5年9月の一か月間に、放射線技師が静脈路確保行為を行った割合は、CTで約82%、MRIで約91%、RI検査で約88%となった。一日あたりの看護師の静脈路確保件数は平均して24件から3.7件に減少し、約84%減少した。それに加え、看護師の各検査室への移動時間や注射準備にかかる時間なども削減された。

**【考察】**

告示研修の受講推進や院内における医療安全マニュアルの作成などを行い、放射線技師による静脈路確保業務の体制を確立することができた。これにより看護師の業務負担の削減につながった。令和7年度開院の新病院に向けて、新たな放射線技師法で定められた静脈路確保業務以外の業務についても、放射線技師が行えるようタスクシフトを推進していく。

C-5

## 小牧市民病院 医師の働き方改革 ～ 2022 年度より本格始動 ～

○津坂 英彦

小牧市民病院 事務局 病院総務課

### 【背景】

2024 年度より医師の時間外労働上限規制の適用が開始する。診療に従事する医師は時間外・休日労働の上限時間について、各診療科の勤務状況に応じて各水準の指定を受ける必要がある。

### 【目的】

当院では、A 水準（臨時的長時間労働が必要な場合の原則的水準：年 960 時間上限）を基準とするが、一部の診療科は B 水準（救急・高次医療など地域医療確保のため自院内で長時間労働が必要な場合：年 1860 時間上限）を、臨床研修医は C-1 水準（研修のために長時間労働が必要な場合：年 1860 時間上限）を適用予定。医療機関勤務環境評価センターのガイドラインに基づき、医師労働時間短縮計画案（以下「時短計画」）を作成、評価受審、無事に評価結果を受領し、愛知県へ各水準の指定申請中。

### 【方法】

医師の労働時間短縮に向けた主な取組として、勤怠管理システム導入による客観的労働時間の把握、労働と自己研鑽の明確化、タスクシフト / シェアによる業務効率化の検討、主治医制の見直し（当番・チーム制導入）、外部講師による院内研修を開催し、各取組について院内周知・共有した。また、今年度より追加的健康確保措置として長時間労働の中でも健康を守るために時間外労働が月 100 時間以上と見込まれる医師に対して面接指導を実施し健康状態を管理中。

### 【結果】

昨年と今年で医師の勤務実態調査と各診療科ヒアリングを行い、時短計画対象の 15 診療科の内、9 診療科において時間外労働時間が短縮した。働き方改革関連セミナーに参加し他院での取組や好事例の参考も効果的であった。

### 【考察・結語】

医師の働き方改革を病院全体の働き方改革へつなげていくことが重要である。多職種全体が働きやすい環境になるように、意見交換を重ねて目的を共有して一丸となり、役割分担・連携強化して、組織全体の取組として推進する。

ご協賛〔一般〕名簿

五十音順 敬称略

新日空サービス株式会社

三浦工業株式会社

株式会社三輪器械

有限会社愛北義肢製作所

株式会社シモテック

株式会社ニチイ学館

株式会社名鉄百貨店

アイホン株式会社	ナガイホールディングス株式会社
アズビル株式会社	日本ステリ株式会社
アボットジャパン合同会社	光製薬株式会社
ヴァネオ・システム株式会社	株式会社フジマック
エームサービス株式会社	ホシザキ東海株式会社
株式会社エバ	株式会社松本義肢製作所
株式会社エラン	株式会社メイテツコム
極東製薬工業株式会社	株式会社名鉄クリーニング
株式会社クレセント	株式会社名鉄生活創研
株式会社近藤	株式会社モルテン
株式会社シー・アイ・シー	株式会社八神製作所
積水メディカル株式会社	株式会社リイツメディカル
東海報知機株式会社	有限会社和光義肢

ご協賛〔広告〕名簿

五十音順 敬称略

キヤノンメディカルシステムズ株式会社

豊和工業株式会社

株式会社 グリーム

ア ッ ヴ ィ 合 同 会 社

株式会社 アルメックス

C T M 株 式 会 社

株式会社 ドッドウエルビー・エム・エス

ノバルティスファーマ株式会社

富士フィルムメディカル株式会社

三菱ケミカルアクア・ソリューションズ株式会社

R E L A T I O N S 株 式 会 社

アステラス製薬株式会社  
株式会社麻生  
株式会社アドバンスト・メディア  
株式会社APEX  
エア・ウォーター防災株式会社  
エーザイ株式会社  
エム・シー・ヘルスケア株式会社  
MSD株式会社  
大塚製薬株式会社  
興和株式会社  
第一三共株式会社  
大正製薬株式会社  
大和電設工業株式会社  
武田薬品工業株式会社  
タック株式会社

田辺三菱製薬株式会社  
株式会社ツムラ  
帝人ヘルスケア株式会社  
テルモ株式会社  
ニットーボーメディカル株式会社  
パラマウントベッド株式会社  
株式会社フォーム  
名鉄EIエンジニア株式会社  
名鉄エリアパートナーズ株式会社  
名鉄協商株式会社  
株式会社名鉄クリーニング  
名鉄バス株式会社  
株式会社名鉄ホテルホールディングス  
持田製薬株式会社  
ヤンセンファーマ株式会社

## ご協賛〔展示〕名簿

五十音順 敬称略

株式会社協栄メディカルサービス

キリンビバレッジ株式会社

東洋羽毛東海販売株式会社

東和薬品株式会社

日本光電工業株式会社

日本インターシステムズ株式会社

株式会社 World Life Mapping

## ご協賛 [ ランチョンセミナー ] 名簿

五十音順 敬称略

株式会社協栄メディカルサービス

GEヘルスケア・ジャパン株式会社

# 笑顔につながる 明日を、共に。



米国に本社を置く、グローバルな研究開発型のバイオ医薬品企業アッヴィ。  
私たちが目指すのは、この社会の誰もがその人らしく笑顔ある日々を過ごせること。  
そのために、多様な社員が想いをひとつに、  
新しい医薬品や治療法を生み出すことに挑み続けます。  
そして、医療分野にとどまることなく、同じ想いを持つ人々と共に、  
社会課題の解決に向けて取り組んでいきます。

abbvie

## アッヴィ合同会社

〒108-0023 東京都港区芝浦三丁目1番21号  
msb Tamachi 田町ステーションタワーS  
<https://www.abbvie.co.jp/>

# テクノホスピタリティを 医療機関の窓口業務へ

受付・診察・精算まで・・・  
医療機関のフロントサービスを  
トータルサポートいたします！



## Products

医療費自動精算機

THseries



診察、会計番号表示システム

待合番号表示アプリ  
Sma-pa DISPLAY



医療費後払いシステム

Sma-pa CHECKOUT



自動再来受付機

APS-NEXT



オンライン資格確認対応  
顔認証付きカードリーダー  
マイタッチ



AI 多機能端末  
スマホ ターミナル  
Sma-pa TERMINAL

お問い合わせはこちら

**TEL:052-982-8470**

<https://www.almex.jp/>



商品の詳細はホームページでご案内しています。



株式会社アルメックス  
マーケティングセールス本部  
中部支社



確かな提案力で、人と医療のために



## CTM株式会社

三重営業所  
〒514-0013 三重県津市海岸町6番14号  
TEL(059)213-7531 FAX(059)222-6322

岐阜営業所  
〒500-8152 岐阜県岐阜市入舟町1丁目8番地 シャンテ岐阜1階  
TEL(058)216-0227 FAX(058)216-0228

本社  
〒466-0002 愛知県名古屋市昭和区吹上町1丁目201番  
TEL(052)744-5550 FAX(052)744-5551

横浜営業所  
〒232-0013 神奈川県横浜市南区山王町3-24-8 港横浜ビル5階  
TEL(045)260-6206 FAX(045)260-6306

埼玉営業所  
〒338-0013 埼玉県さいたま市中央区鈴谷3-12-14 コートアベニュー1階  
TEL(048)789-6770 FAX(048)789-6845



株式会社 ドッドウエル ビー・エム・エス

# 業務用空調に特化した 節電・省エネシステム

クラウド接続でCO<sub>2</sub>排出量・エネルギー使用量を見える化

## Ai-Glies series

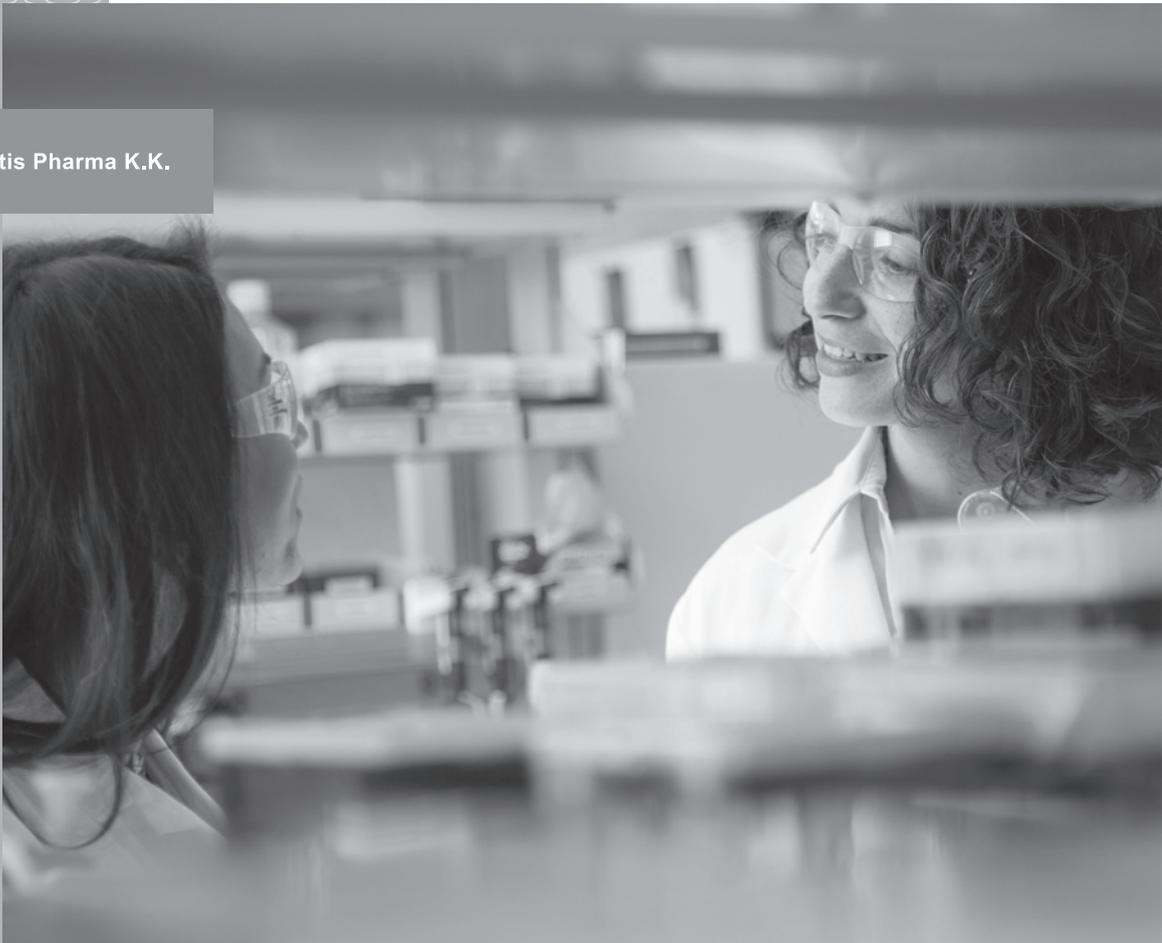


- ◆ 節電効果を試算致します。お気軽に下記までお問い合わせください。

〒461-0004 名古屋市東区葵1-26-12 IKKO新栄ビル 7F

株式会社 ドッドウエル ビー・エム・エス 名古屋支店

TEL052-930-6011 FAX052-930-6012



Novartis Pharma K.K.

## 新しい発想で医療に貢献します

ノバルティスのミッションは、より充実した、  
すこやかな毎日のために、新しい発想で医療に貢献することです。  
イノベーションを推進することで、  
治療法が確立されていない疾患にも積極的に取り組み、  
新薬をより多くの患者さんにお届けします。

 NOVARTIS

ノバルティス ファーマ株式会社

<http://www.novartis.co.jp/>

# 診療プロセスの全体像を迅速に把握 スムーズかつ的確な診療をサポート



病院内の各診療システムで管理されている、検査画像、バイタル情報、処方などの診療データを1つのプラットフォームに集約・表示。診療プロセスの全体像を把握しながら、診療の場面に応じて、目的の情報に簡単・迅速にアクセスすることができる次世代診療支援システムです。

統合診療支援ポータル	クリニカルフロー
<p><b>データ統合</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 院内の診療情報を統合</li> </ul>	<p><b>ケアプロセスの可視化</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 診療プロセスをわかりやすく可視化</li> </ul>
<p><b>結果参照の効率化</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 必要な情報閲覧にかかる時間を短縮</li> </ul>	<p><b>チーム医療の促進</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 医師やコメディカルの情報共有を促進</li> </ul>
<p><b>ペーパーレス</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 院内の紙をなくし業務効率化を促進</li> </ul>	<p><b>必要な文書や検査を把握</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 診療報酬算定に必要な書類の漏れを把握</li> </ul>

**統合  
診療支援  
プラット  
フォーム**

## レポート既読管理ソリューションで医療安全を支援。

CITA Clinical Finderのレポート既読管理ソリューションは、放射線・生理・内視鏡・病理など全ての検査レポートを対象として主治医を中心に多職種協働でレポートの見落としを防止します。

- 統合システムだから放射線・生理・内視鏡・病理など全ての画像・レポートの未読を管理
- 主治医だけでなく、患者様に関連する全てのスタッフでサポート
- CITAを起動しなくても、一定期間経過した未読患者や重要レポートの到着をお知らせ

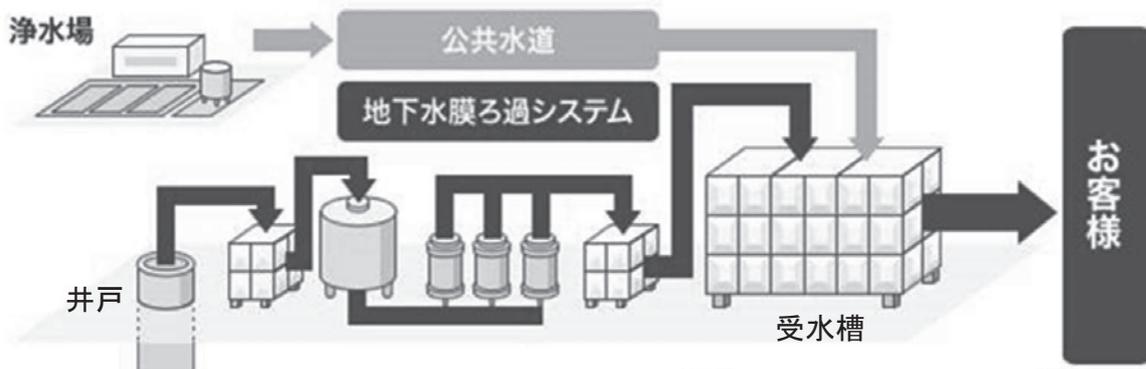


統合診療支援プラットフォーム  
Clinical Intelligence Technology & Architecture

# 災害時の給水対策（BCP）と平常時の2元給水

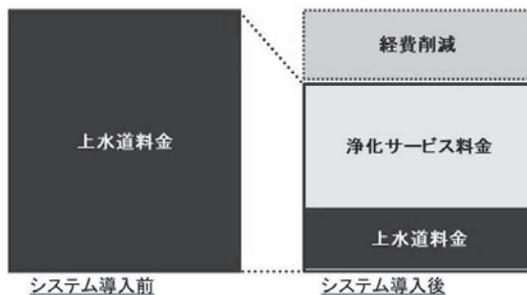


（導入事例）名鉄病院 地下水膜ろ過システム 2016年3月竣工



## 公共水道コスト削減

上水道使用量の約80%(通常)を地下水に切り替え、浄化サービスをご利用頂くことで、導入月から上水道料金を初期投資無く、削減できます。



## BCP

災害時における給水ライン確保で事業継続性を高めます

## CSR

災害時における地域住民への給水サービスで貢献できます

4つの  
メリット

## 経済性

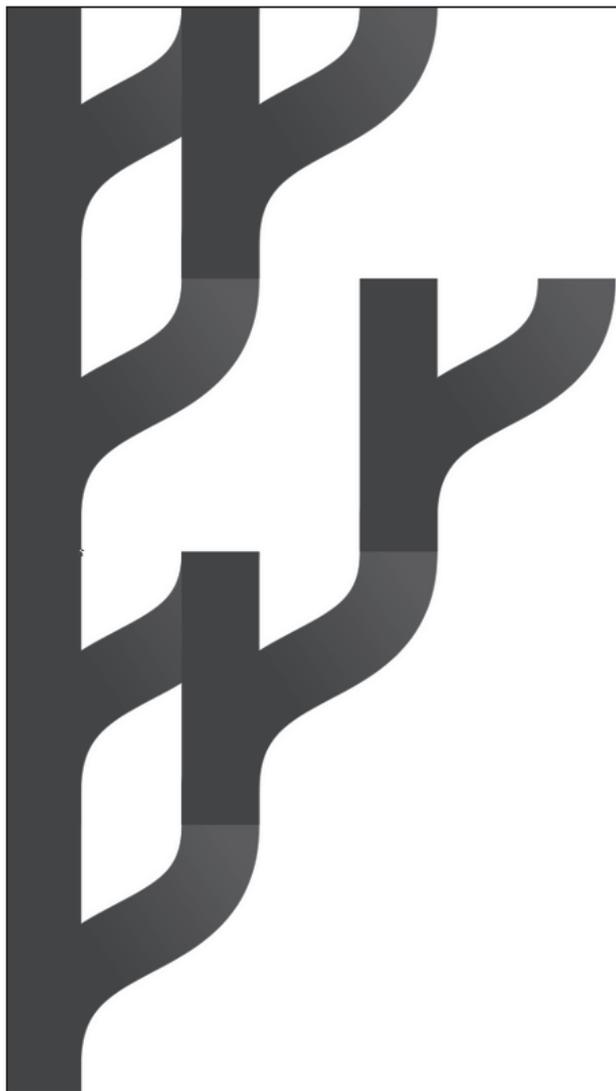
「地下水膜ろ過システム」で公共水道料金削減が図れます

## 地下水の 恒温性

地下水の特徴を活かせば環境負荷軽減だけでなく、おいしく安全な水を利用できます

**全国導入実績 1,300件以上 令和5年1月現在**

三菱ケミカルアクア・ソリューションズ株式会社 名古屋支店  
〒453-0053 名古屋市中村区中村町6-5 中村公園第2ビル  
TEL:052-486-2678(代) 携帯:090-5794-1509 (担当 相田)



生命力あふれる組織とは  
一人ひとりが組織の目的に共鳴し、  
創造的に躍動する場です。

組織の本来のありたい姿に立ち返り、  
本音が行き交う素直な関係が紡がれると、  
人と組織の可能性がひらかれます。

私たちRELATIONSは、  
共にあらゆる垣根を越えて、  
生命力あふれる組織を探求します。

私たちは、病院のあらゆる組織課題解決に伴走します。



**relations**

<https://www.relations.net/>



**relations note**

<https://note.relations.net/>



まだないくすりを  
創るしごと。

世界には、まだ治せない病気があります。

世界には、まだ治せない病気とたたかう人たちがいます。

明日を変える一錠を創る。

アステラスの、しごとです。

[www.astellas.com/jp/](http://www.astellas.com/jp/)

明日は変えられる。



アステラス製薬株式会社

 麻生グループ

# AmiVoice® | AI音声認識から広がるテクノロジー

Human Communication Integration

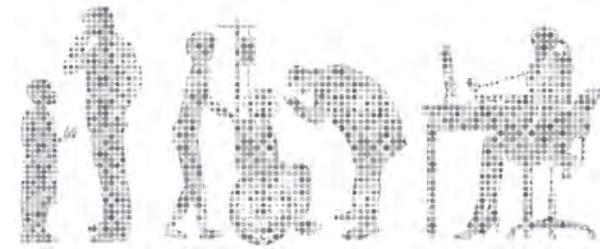
医療従事者の業務効率化と働き方改革をサポートします

## # 音声認識でつくりたい未来へ。

もしも、人とキカイが自然な会話でつながる未来を実現できるなら。

AI 音声認識 国内シェア No.1※の「AmiVoice®」があれば、そんな楽しい未来だって、きっと夢ではありません。音声認識の力で、ワクワクできる未来をあたりまえに。私たちは、アドバンスト・メディアです。

※合同会社 ecarlate 「音声認識市場動向 2023」 音声認識ソフトウェア / クラウドサービス市場



**Advanced Media, Inc.**  
株式会社アドバンスト・メディア

### AmiVoice® Ex7

喋るだけで記録を作成。新たな音声認識エンジンが採用され、これまで以上の認識精度を実現。現場の規模・ニーズに合わせたライセンス形式で導入可能。

### AmiVoice iNote

スマートフォンを活用し、いつでも・どこでも・簡単に記録を残せるワークシェアリングサービス。入力支援機能のほか、代行入力・院内SNS・業務量モニタリング機能を搭載。

### AmiVoice iNote Lite

AmiVoice iNote の入力支援機能に特化したプランを新たにご提供。院内サーバーが要らず、iOS 端末でスタンドアロン音声認識が可能。

### AmiVoice® ScribeAssist NEW

院内カンファレンス、診療、面談などの様々なシーンで活用できるスタンドアロン型の文字起こし支援ツール。議事録作成の負担を解消。

〒170-6042 東京都豊島区東池袋 3-1-1 サンシャイン 60 42 階  
TEL: 03-5958-1045 URL: [www.advanced-media.co.jp](http://www.advanced-media.co.jp)  
Mail: [medical@advanced-media.co.jp](mailto:medical@advanced-media.co.jp)



医療機器の販売をとおして  
お客様へ 地域社会へ 社員へ  
「安心」を提供します

## 株式会社 APEX

本社 / 〒451-0075 名古屋市西区康生通二丁目26番地  
Tel 052-522-6300 (代表)

岐阜営業所 / 〒500-8367 岐阜市宇佐南一丁目12番20号 Tel 058-273-1700

静岡営業所 / 〒422-8027 静岡市駿河区豊田一丁目9番37号 Tel 054-270-9066

浜松営業所 / 〒430-0912 浜松市中区茄子町352番地の12 Tel 053-581-7035

横浜営業所 / 〒231-0023 横浜市中区山下町51番1 Tel 045-222-6628

東京営業所 / 〒160-0023 東京都新宿区西新宿三丁目2番11号 Tel 03-5875-8182

ニューロモデュレーション事業部 / 〒460-0008 名古屋市中区栄二丁目4番12号 Tel 052-218-3222

ニューロモデュレーション事業部 大阪営業所 / 〒541-0053 大阪府大阪市中央区本町四丁目4番17号 Tel 06-6575-7995

ニューロモデュレーション事業部 福岡営業所 / 〒810-0001 福岡県福岡市中央区天神三丁目10番20号 Tel 092-752-9988

株式会社APEX 検索  
[www.apex-med.jp/](http://www.apex-med.jp/)

取扱商品

PCI関連商品 PTA関連製品 カテーテルアブレーション関連製品 不整脈植え込み型デバイス  
TAVI ステンドグラフト 人工血管 脳血管治療関連 心臓外科関連製品 麻酔科関連製品  
ニューロモデュレーション関連 ME機器

患者様、医療従事者の皆様にとって、  
信頼できる快適な医療空間であるために。



より使いやすく自由にカスタマイズ  
できる手術室。絶対的安全性が求め  
られる医療ガス供給システム。

私たちは、手術室の設計・施工、医療  
ガス供給設備のパイオニアとして、  
培ってきた長年の実績と高度な技術で  
お客様に確かな「安全」と「安心」を  
お届けいたします。



- |                 |          |          |      |      |
|-----------------|----------|----------|------|------|
| 手術部・集中治療部・中央材料部 | 医療ガス供給設備 |          |      |      |
| 電気設備            | 空調設備     | 医療機器     | 剖検設備 | RI設備 |
| 感染系排水処理システム     | 消火設備     | 保守メンテナンス |      |      |

地球の恵みを、社会の望みに。

 **エアウォーター防災株式会社**

中部支社 TEL 052-262-5371 FAX 052-262-5375



<https://awb.co.jp/>



エム・シー・ヘルスクア株式会社

すべては医療現場のために。

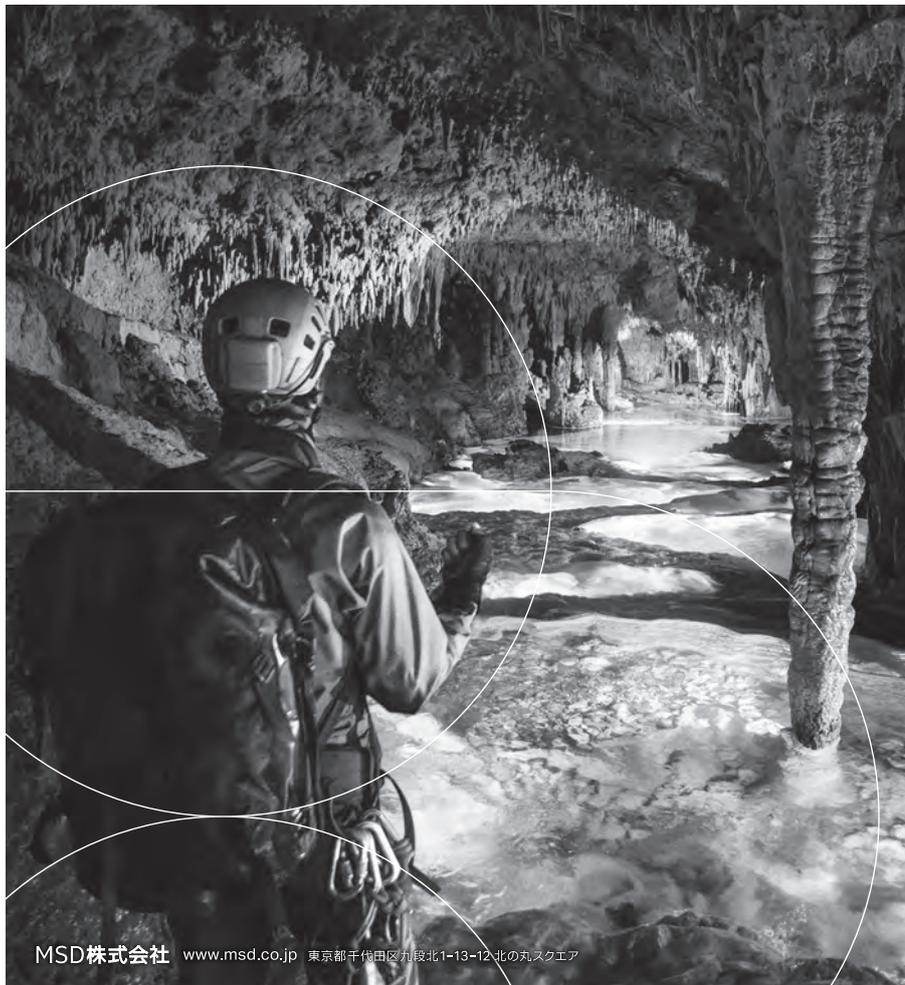
私たちには夢がある。

未来も、豊かな医療を受け続けられるように。

だから、私たちは考える。答えを出す。

物流を変え、古い垣根を跳び越える。

医療現場で待っている、一人ひとりのために。



## INVENTING FOR LIFE

人々の生命を救い  
人生を健やかにするために、挑みつづける。

最先端の医薬品の創造。それは長く険しい道のりです。  
懸命な研究開発の99%以上は実を結ばない現実。  
でも、決してあきらめない。  
あなたや、あなたの大切な人の「いのち」のために、  
革新的な新薬とワクチンの発見、開発、提供を  
私たちは続けていきます。



MSD株式会社 [www.msd.co.jp](http://www.msd.co.jp) 東京都千代田区九段北1-13-12北の丸スクエア



アトピー性皮膚炎治療剤 処方箋医薬品<sup>注)</sup>  
**モイゼルト® 軟膏 0.3% 1%**

Moizerto® ointment 0.3%・1%

ジファミラスト軟膏

注) 注意—医師等の処方箋により使用すること

薬価基準収載

製造販売元  
**大塚製薬株式会社**  
Otsuka 東京都千代田区神田司町2-9

文献請求先及び問い合わせ先  
大塚製薬株式会社 医薬情報センター  
〒108-8242 東京都港区港南2-16-4  
品川グランドセントラルタワー

◇効能又は効果、用法及び用量、禁忌を含む使用上の注意事項等情報については、電子添文をご参照ください。

〈23.03作成〉



高脂血症治療剤

薬価基準収載

**パルモディア<sup>®</sup>錠 0.1mg**

PARMODIA<sup>®</sup> TAB. 0.1mg (ベマフィブラート錠)

処方箋医薬品：注意—医師等の処方箋により使用すること

高脂血症治療剤

薬価基準未収載

**パルモディア<sup>®</sup>XR錠 0.2mg  
0.4mg**

PARMODIA<sup>®</sup> XR TABLETS 0.2mg・0.4mg(ベマフィブラート徐放錠)

処方箋医薬品：注意—医師等の処方箋により使用すること

「効能又は効果」、「用法及び用量」、「禁忌を含む注意事項等情報」等については電子添文をご参照ください。



製造販売元(文献請求先及び問い合わせ先)  
**興和株式会社**  
東京都中央区日本橋本町三丁目4-14

2023年6月作成



世界中の人々の  
健康で豊かな生活に貢献する

イノベーションに情熱を。ひとに思いやりを。



**第一三共株式会社**



選択的SGLT2阻害剤—2型糖尿病治療剤— 薬価基準収載

**ルセファイ錠 2.5mg・5mg**  
**ルセファイODフィルム 2.5mg**



処方箋医薬品 (注意—医師等の処方箋により使用すること)

*Lusefi*<sup>®</sup> tablets 2.5mg・5mg  
*Lusefi*<sup>®</sup> od film 2.5mg

ルセオグリフロジン水和物製剤  
® 登録商標

※「効能又は効果」、「用法及び用量」、「禁忌を含む注意事項等情報」等については、各製品の電子添文をご参照ください。



製造販売 [文献請求先]

**大正製薬株式会社**

〒170-8633 東京都豊島区高田3-24-1

お問い合わせ先: ☎ 0120-591-818

メディカルインフォメーションセンター

2022年5月作成

栄養給食管理システム

**NUTRIMATE<sup>®</sup>**

ニュートリメイト

大学病院  
国内シェア※

**48%**

高い導入率※が、  
ニュートリメイトの  
信頼のあかしです。

※2022年12月弊社調べ

栄養士さんのお悩み解決!

New!!

きめ細やかな運用で、  
安全に作業効率 UP!

患者様一人ひとりの情報を  
ベースに、個人献立を自動  
生成。

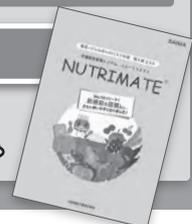
クラウド版提供開始!

- ・月額費用でのご利用が可能
- ・初期コストを軽減
- ・BCP対策にも有効
- ・スムーズなリモート保守

まずは、お気軽に資料請求!

ニュートリメイト

検索



**DAIWA**



大和電設工業株式会社

〒980-0804

仙台市青葉区大町2-5-1

TEL:022-216-3131

FAX:022-216-3138

WEB:http://www.ddk.co.jp



## Better Health, Brighter Future

タケダは、世界中の人々の健康と、輝かしい未来に貢献するために、グローバルな研究開発型のバイオ医薬品企業として、革新的な医薬品やワクチンを創出し続けます。

1781年の創業以来、受け継がれてきた価値観を大切に、常に患者さんに寄り添い、人々と信頼関係を築き、社会的評価を向上させ、事業を発展させることを日々の行動指針としています。

武田薬品工業株式会社  
www.takeda.com/jp



健診ビジネスのあらゆる業務をトータルサポート  
健診業務支援システム

# タック総合健診システム

好評発売中  
診療所・クリニック様向け  
タック健診クラウド



おかげさまで **900** 突破！  
現在稼働中 施設

Web活用事例も続々と増えています！  
詳しくはお問合せ下さい。

イビデングループ  
**タック株式会社**

タック 健診

検索

〒503-0803 岐阜県大垣市小野4丁目35番地12  
TEL 0584-75-6501(代) / FAX 0584-75-6502  
TEL 0584-75-6514(直通) [製品サイトはこちら▶](#)



# 選択肢をつくる。 希望をつくる。

なんでも選べるこの時代に、  
まだ選択肢が足りない世界があります。  
そこでは、たったひとつの選択肢が生まれることが、  
たくさんの希望につながります。  
だから、田辺三菱製薬はつくります。

病と向き合うすべての人に、希望ある選択肢を。

この国でいちばん長く培ってきた  
薬づくりの力を生かして、  
さまざまな分野で、挑みつけていきます。  
そこに待っている人がいるかぎり。

 田辺三菱製薬  
<https://www.mt-pharma.co.jp/>

 MITSUBISHI  
CHEMICAL  
GROUP



生薬には、  
個性がある。

漢方製剤にとって「良質」とは何か。その答えのひとつが「均質」である、とツムラは考えます。自然由来がゆえに、ひとつひとつに個性がある生薬。漢方製剤にとって、その成分のばらつきを抑え、一定に保つことが「良質」である。そう考える私たちは、栽培から製造にいたるすべてのプロセスで、自然由来の成分のばらつきを抑える技術を追求。これからもあるべき「ツムラ品質」を進化させ続けます。現代を生きる人々の健やかな毎日のために。自然と健康を科学する、漢方のツムラです。

## 良質。均質。ツムラ品質。



株式会社ツムラ <https://www.tsumura.co.jp/> 資料請求・お問合せは、お客様相談窓口まで。  
医療関係者の皆様 tel.0120-329-970 患者様・一般のお客様 tel.0120-329-930 受付時間 9:00~17:30(土・日・祝日は除く)

2021年4月制作 (審)

**TEIJIN**

Human Chemistry, Human Solutions

# 患者さんの Quality of Lifeの向上が 私たちの理念です。



帝人ファーマ株式会社 帝人ヘルスケア株式会社 〒100-8585 東京都千代田区霞が関3丁目2番1号

PAD003-TB-2103-1

Quality time for better care

Quality time for better care は、Terumo Medical Care Solutions のブランドプロミスです。

**TERUMO** MEDICAL CARE SOLUTIONS

## サーフロー-ZERO™



### ゼロへ、挑む。

確実留置で医療従事者・患者の負担軽減を  
目指した留置針。

- 血管を捉えやすい、テルモ独自開発の「3D針」。
- 血管確保のサインが「見える」、サーフロー独自の「OKフラッシュ」機構。
- 誤操作・操作忘れを防ぐ、パッシブセーフティ機構。
- 血液曝露リスクを低減する止血弁。

一般名称:プラスチックカニューレ型滅菌済み穿刺針 販売名:サーフロー-ZERO 医療機器認証番号:303AABZX00055000  
テルモ株式会社 〒151-0072 東京都渋谷区幡ヶ谷 2-44-1 www.terumo.co.jp

記載されている社名、各種名称は、  
テルモ株式会社および各社の商標または登録商標です。  
©テルモ株式会社 2022年10月



汎用自動分析装置用 IgG4測定試薬

N-アッセイ LA IgG4 ニットーボー

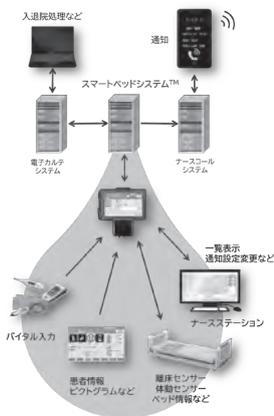
- 生化学汎用自動分析装置で使用可能な試薬です。
- モノクローナル抗体を使用し、IgG4を特異的に測定できる試薬です。
- 質量分析計を用い、科学的な根拠に基づいた値付けを行っています。
- IgG4が高濃度域でも偽低値を示さない測定法を採用し、500mg/dLまで測定可能です。

**製造販売元** ニットーボーメディカル株式会社 〒963-8061 福島県郡山市富久山町福原字塩島1番地  
**お問い合わせ先** ニットーボーメディカル株式会社 〒102-0083 東京都千代田区麹町2丁目4番地1 麹町大通りビル7階  
 TEL:03-4582-5420 FAX:03-3238-4591

医療施設のIOT化に向けたソリューション「スマートベッドシステム」のご案内



システムイメージ



導入設置例



システムの機能紹介

**1 患者の状態把握と変化を通知**  
 呼吸数、心拍数、酸素、室温、湿度などの情報をリアルタイムにセンシングし端末に表示します。  
 体温や血圧は毎15分ごとに状態を把握。  
 ① 異常発生を把握し、腫瘍化に伴う行動（起き上がり、咳、嘔吐、腹痛など）を感知した場合はナースコール音に通知します。  
 ② 体温・室温の把握で異常を感知し、検知結果を自動的に評価できます。  
 ③ 検知センサーから得られた拍動、呼吸数、呼吸/呼吸などから、患者の状態変化の把握につながります。  
 ※ 監視をかけることなく患者の状態を把握できます。

**3 ピクトグラム・患者情報の表示**  
 患者情報やピクトグラムをベッドサイド端末に表示することで、患者の状態を関係者の間で共有できます。  
 各病室のスマートベッドをすべてに一括で変更。  
 ① 患者に関する情報を表示します。  
 ② 電子カルテに登録された各種バイタルサイン、検知センサーで取得した検知状況、心拍数・呼吸数などを表示します。  
 ③ 検知センサーの検知状況や、一括変更・呼吸数の検知設定を確認、変更することができます。  
 ※ 電子カルテ端末がない場合でも、患者に関する情報の確認ができます。また表示している内容を患者や家族と共有できます。

**2 患者/ベッドの状態を一覧表示**  
 患者の状態や、ベッドの背あげ角度や高さ、そして検知センサーなどの機器情報をスタッフステーションの端末に一覧で表示することができます。  
 ① スマートベッドの稼働状況  
 ② 病棟の全ての患者の検知・検知状況、病棟の全てのベッドの背あげ角度、ベッドの高さを把握することができます。  
 ③ 各病棟の稼働が正確に把握しているかを確認することができます。  
 ※ 設定しなくても状態を把握できるため、夜間の見守り業務などの負担軽減につながります。

**4 バイタルサイン入力の省略化**  
 ① 検知センサーのバイタルサイン測定機器（検知センサー、血圧計など）をベッドサイド端末の筐体に取り付け、バイタルサインの測定値や測定時刻がベッドサイド端末に入力され、登録ボタンを押すと電子カルテにバイタルサインを登録できます。  
 ※ キーボード入力の入力量を無くすだけでなく、測定後すぐに登録できることで、医師検事者間でばりリアルタイムにバイタルサインを共有できます。

先端医療に役立つベストツールを提供し、  
 社会へ貢献するために、  
 私たちは「3つのS」を大切にします。

### Sympathy【人情】

どれだけハイテク化や合理化が進んでも、当社は人と人の温もりある関係こそが最も大切だと考えています。  
 地域社会に根ざした、あたたかいコミュニケーションにより、きめ細かいサービスに努めてまいります。

### Sincerity【誠実】

大切な生命を預かる医療現場のニーズを満たすため、誠心誠意、ベストを尽くすこと。  
 期待に100%応えること。数々のお客様にお喜びいただくことが、我々フォームの喜びであり誇りです。

### Spirit【奮闘】

その問題に対して、常にベストな姿勢で闘っているか。諦めていないか。当社のモットーである  
 3つめの「S」は、情熱をもって奮闘することです。生命を守るために努力は惜しみません。



先端医療に貢献する医療専門商社



株式会社 **フォーム**

本社・名古屋支店 〒465-0025 名古屋市名東区上社四丁目191番地 TEL:052-704-0610  
 岐阜支店 〒500-8154 岐阜市木ノ下町五丁目16番地 TEL:058-240-0059  
 三重支店 〒514-0131 三重県津市あかつ台四丁目6番10 TEL:059-231-2531  
 四日市支店 〒510-0018 三重県四日市市白須賀三丁目5番10号 TEL:059-340-0011  
 URL <http://www.m-form.co.jp>



# 名鉄EIエンジニア

独創的な技術でお客様に寄り添う  
 システム・設備・サービスを生み出します

日々進化していく世の中の流れにふさわしいソリューションを提案するのが名鉄EIエンジニアの大きな役割です。コストや工期、環境等多岐にわたるハードルをクリアし、これまで以上のサービスを提供するために、私たちは最善の課題解決策を見出します。それを具体化するのは独創的な技術と熟練のスタッフが一体となってお客様の立場に立ったシステム・設備・サービスを提供しています。



電気、電気通信、建築、土木、消防施設工事等の  
 設計、監理、施工、調査、測量、点検、整備及び修理  
 を行っています。

### お問い合わせ

名鉄EIエンジニア株式会社 営業部  
 〒456-0031 名古屋市熱田区神宮四丁目3番36号  
 TEL:(052)678-1511 FAX:(052)682-8713  
 MAIL :info@mei-ei.co.jp



## 名鉄エリアパートナーズ

MEITETSU AREA PARTNERS Inc.

〒457-0058

愛知県名古屋市南区前浜通

七丁目28番地

TEL：052-821-2101(代表)

FAX：052-811-1540

URL：https://www.meitetsu-ap.co.jp/



名鉄エリアパートナーズ株式会社は、エネルギー事業、商事事業、タイヤ事業、環境メンテナンス事業、造園土木事業、建築・不動産事業、防腐事業、鉄道事業の多様な事業を展開し、名鉄沿線地域の豊かな社会の実現に貢献してまいります。

Business content

### 事業内容



エネルギー事業



商事事業



タイヤ事業



環境メンテナンス事業



造園土木事業



建築・不動産事業



防腐事業



鉄道事業

人が動く 街が動く。さあ、次なるステージへ

# move! Meitetsu Kyosho



かなえたいを、協える。

## 名鉄協商

### 名鉄協商株式会社

本社／〒450-8618  
名古屋市中村区名駅南二丁目14番19号  
住友生命名古屋ビル10階  
TEL:052-582-1011(代表)  
https://www.mkyosho.co.jp



### 事業

- 各種商品販売・サービス
- モビリティ(カーリース・保険  
カーシェア・シェアサイクル)
- パーキング
- 不動産



# 集配クリーニングのご案内

## 配達エリア

※詳細はお問い合わせください

〈愛知県〉  
全域

〈岐阜県〉  
岐阜地域 西濃地域

〈三重県〉  
北勢地域

## ご依頼方法

### 方法1) ホームページから

名鉄クリーニングホームページ右上「集荷のご依頼」から

【H.P.】

<https://www.meikuri.co.jp/>



### 方法2) お電話にて 受付時間 8:45~16:00

【フリーダイヤル】 **0120-673-517**

### 方法3) LINEの友達登録から

右記QRコードからLINEの友達登録



## 料金表の一例

配達料金無料!

(税込)

掛・敷布団シングル(綿)	3,670円	掛・敷布団ダブル(羽毛)	7,470円
掛・敷布団シングル(羊毛)	5,440円	毛布シングル一重	1,270円
掛・敷布団シングル(羽毛)	6,200円	毛布シングル二重	2,030円
掛・敷布団ダブル(綿)	4,180円	カーテン1㎡あたり	700円
掛・敷布団ダブル(羊毛)	6,710円	ジュータン1畳あたり	1,780円

## 保管サービス

最長9ヵ月。24時間365日、最適な温度・湿度、遮光環境で大切な衣類や布団を保管いたします。

衣類1点 / 320円 大がさ品1点 / 760円



株式会社名鉄クリーニング 名古屋市区貴生町312 TEL / (052) 501-5512

<https://www.meikuri.co.jp/>

# MEITETSU BUS

## 名鉄バスセンターからの 高速バスネットワーク

- ・主要都市へ直行。観光・帰省・ビジネスに便利。
- ・毎日運行だから安心・便利。(一部の路線を除く)
- ・名鉄バスセンター(名鉄名古屋駅)発着の好アクセス。



※2023年4月1日現在

お問合せ

名鉄お客さまセンター

**052-582-5151**

名鉄バス

名鉄バス



M H H D  
MEITETSU HOTEL HOLDINGS

いつも煌めき 温もり 安らぎを



名鉄ホテルグループ



名鉄グランドホテル

岐阜グランドホテル



ヒト化抗ヒト IL-23p19 モノクローナル抗体製剤

薬価基準収載

オンボ<sup>®</sup>

点滴静注 300mg  
皮下注 100mg オートインジェクター  
皮下注 100mg シリンジ

omyoh<sup>®</sup>  
mirikizumab

ミリキズマブ(遺伝子組換え)注射液  
生物由来製品 劇薬 処方箋医薬品 注意一医師等の処方箋により使用すること

新発売

「効能又は効果」、「用法及び用量」、「警告・禁忌を含む注意事項等情報」等については、  
電子添文をご参照ください。



販売<文献請求先及び問い合わせ先>  
持田製薬株式会社  
東京都新宿区四谷1丁目7番地  
TEL 0120-189-522 (くすり相談窓口)

製造販売元

日本イーライリリー株式会社  
〒651-0086 神戸市中央区磯上通5丁目1番28号

2023年6月作成 (N2)



## ヤンセンが目指すのは、 病が過去のものになる未来を作ることです。

世界のすべてが、私たちの研究室。  
病と懸命に闘う患者さんのために、高い科学技術、独創的な知性、  
世界中の力を合わせ、新しい可能性を切り拓く。

すべては、私たちの解決策を待つ、ひとつの命のために。複雑な課題にこそ挑んでいく。  
新しい薬を創るだけでなく、それを最適な方法で提供する。

革新的な薬や治療法を、届ける。世界中に、私たちを待つ人がいる限り。

誰もが健やかに、いきいきと暮らす社会。  
そんな「当たり前」の願いのために、自ら変化し、努力を続けます。

ヤンセンファーマ株式会社 [www.janssen.com/japan](http://www.janssen.com/japan) [www.facebook.com/JanssenJapan](https://www.facebook.com/JanssenJapan)



## 患者様の想いを見つめて、 薬は生まれる。

顕微鏡を覗く日も、薬をお届けする日も、見つめています。  
病気とたたかう人の、言葉にできない痛みや不安。生きることへの希望。  
私たちは、医師のように普段からお会いすることはできませんが、  
そのぶん、患者様の想いにまっすぐ向き合っていたいと思います。  
治療を続けるその人を、勇気づける存在であるために。  
病気を見つめるだけでなく、想いを見つめて、薬は生まれる。  
「ヒューマン・ヘルスケア」。それが、私たちの原点です。

ヒューマン・ヘルスケア企業 エーザイ



AFUTUREFREEOFLIFE  
Global Alliance

エーザイはWHOのリンパ系フィラリア病制圧活動を支援しています。

## 日本医療マネジメント学会からのご案内



特定非営利活動法人

日本医療マネジメント学会の入会案内と入会手続き

Japan Society for Health Care Management

<http://jhm.umin.jp/>

## 理事長挨拶



日本医療マネジメント学会が発足して26年目になります。本学会は医療の質の向上を求めてクリティカルパスをはじめ医療福祉の連携、安全管理等々、医療福祉の現場における各種の課題の研究、提案を行い、成果を上げて参りました。

本学会の主な活動には全国学術総会の開催があります。第25回日本医療マネジメント学会学術総会（会長 横浜メディカルグループ菊名記念病院理事長 山本 登 先生）は2023年6月23日、24日の2日間にわたりパシフィコ横浜での現地開催と一部オンデマンド配信で開催され、日本全国から多数参加の下に熱心な発表と討論が行われました。会員各位の御協力に感謝申し上げます。

さて、第26回日本医療マネジメント学会学術総会（会長 福岡赤十字病院院長 中房 祐司 先生）は2024年6月21日、22日の2日間にわたって“福岡国際会議場、福岡サンパレス”で開催されます。斬新かつ充実したすばらしいプログラムが企画されています。

多数の皆様の御参加をお待ち致します。

理事長 宮崎 久義

## 学会組織

- 理事会 会務を執行。
- 評議員会 学会の重要事項を審議。
- 総会 学会の最高議決機関で、学術総会時に開催。
- 委員会 広報委員会：学会活動を学会会員及び学会非会員へ提供。学会ホームページの運用。  
企画委員会：学会主催のセミナーなどの企画・開催、学会発行の書籍の企画・出版。  
学会雑誌編集委員会：学会雑誌の企画、発行。  
保険・医療制度対策委員会：学会活動で明らかになった諸問題に対し、関連機関へ働きかけ。  
医療の質検討委員会：患者中心の医療の質の評価手法、医療の質の向上・維持手法について検討。  
クリティカルパス情報交換委員会：クリティカルパスの開発普及及びクリティカルパス・ライブラリーを運営。  
電子化委員会：電子診療録に関する研究。  
原価計算委員会：原価計算に関する情報交換。  
医療安全委員会：医療安全全般に係る情報の収集、分析、発信。  
地域医療委員会：地域の医療の在り方、地域医療支援病院に関する検討。  
個人情報保護委員会  
医療資材検討委員会  
薬事委員会
- 分科会等 地域連携分科会、医療安全分科会、医療福祉連携講習会、医師事務作業補助者指導者養成講習会、クリティカルパスワークショップなどの開催。
- 支部 各都道府県に支部を設置し、支部学術集会、研修会などの企画、運営。

## 入会申し込み

- 一般正会員 学会の趣旨に賛同される個人  
年会費 医師・歯科医師 10,000円  
医療スタッフ・福祉・一般 7,000円
- 主な特典 日本医療マネジメント学会雑誌（年間5冊出版）、News Letterの提供
- 賛助会員 学会の趣旨に賛同される企業など  
年会費 100,000円  
主な特典 ・一般正会員1名と同等の特典  
・学会主催展示会で優先的に展示場所割当
- 会計年度 本学会の会計年度は4月～翌年3月です。
- 入会申し込み 所定の入会申込用紙に必要事項をご記入の上、郵送またはFAXにてお申し込みください。  
本学会ホームページからも入会手続は可能ですのでご利用下さい。

特定非営利活動法人  
日本医療マネジメント学会

〒860-0806

熊本市中央区花畑町1番1号  
大樹生命熊本ビル 3階

TEL:096(359)9099

FAX:096(359)1606

E-mail:jhm@space.ocn.ne.jp

<http://jhm.umin.jp/>

## 設立の経緯

日本医療マネジメント学会は、1998年6月に発足したクリティカルパス研究会を基盤にして設立されました。クリティカルパス研究会は、クリティカルパスを中心にした医療マネジメントのノウハウやツールを研究・開発する目的で、有志の医療関係者が集まって活動していた研究会です。その活動は、1998年6月に第1回定例会を開催、1999年11月までに講演会等を含め14回開催されました。中でも1999年6月に開催した第1回クリティカルパス全国研究交流フォーラム（つくば市）では、約1,800名の参加者があり、医療マネジメントへの関心の高さを認識しました。これを契機に、クリティカルパスをはじめ医療現場の課題を取り上げ、研究活動の更なる拡大を目的に学会に移行し、今日に至ります。

## 沿革

- |            |   |         |   |
|------------|---|---------|---|
| 1998年6月    | 第1回クリティカルパス研究会<br>「医療経営とクリティカルパスの活用」  | 4月      | 第6回クリティカルパス実践セミナーin仙台   |
| 9月         | 第2回クリティカルパス研究会<br>「医療の質とクリティカルパスの活用」  | 5月      | 第7回クリティカルパス実践セミナーin金沢   |
|            | 第3回クリティカルパス研究会<br>「ディージェズマネジメントとEBMとクリティカルパス」   | 5月      | 第8回クリティカルパス実践セミナーin大阪、<br>第9回クリティカルパス実践セミナーin沖縄   |
| 1999年2月    | 第4回クリティカルパス研究会<br>「クリティカルパスと日本版DRG/PPSの実際」  | 6月      | <b>第5回医療マネジメント学会学術総会</b><br><b>「医療改革としての医療マネジメント」</b><br><b>【6月13日～14日 仙台国際センター</b><br><b>会長 山内 英生（国立仙台病院名誉院長）】</b>   |
| 4月         | 第5回クリティカルパス研究会<br>「米国病院視察報告と医療標準化のための薬剤投与<br>パターンの標準化の試み」   |         | 第8回医療連携セミナー<br>「地域医療支援病院の現状と課題」<br>書籍「クリティカルパス実践セミナーテキスト」発行   |
| 6月         | <b>第1回クリティカルパス全国研究交流フォーラム</b><br><b>（第1回学術総会）</b><br><b>【6月5日 つくば国際会議場</b><br><b>会長 小関 迪（筑波記念病院院長）】</b>                                 | 7月      | 第10回クリティカルパス実践セミナーin熊本、<br>第11回クリティカルパス実践セミナーin東京   |
| 7月         | 第6回、第7回合同クリティカルパス研究会<br>「クリティカルパス第一世代から第二世代へ」   | 9月      | 第9回医療連携セミナー<br>「地域医療支援病院と外来分離—現状と課題—」、<br>第12回クリティカルパス実践セミナーin福岡  |
| 9月         | 第8回クリティカルパス研究会<br>「クリティカルパスの適用・非適用の条件を探る」   | 10月     | 第13回クリティカルパス実践セミナーin姫路、<br>第1回「DPC対応型クリティカルパス」特別セミナー  |
| 9月18日      | <b>医療マネジメント学会設立</b>   | 11月     | 「医療安全の新たな展開」  |
| 11月        | 第9回クリティカルパス研究会<br>「高齢患者用クリティカルパスの作成と活用」   | 2004年1月 | 第2回電子カルテセミナー<br>「電子カルテシステムの導入のノウハウ」、<br>書籍「地域医療支援病院と医療連携のありかた」発行  |
| 2000年3月～4月 | 学会設立記念セミナー全国7都市で開催  | 2月      | 第14回クリティカルパス実践セミナーin熊本、<br>書籍「クリティカルパス最近の進歩2003」韓国版発行   |
| 5月         | 医療マネジメント学会ホームページ開設  | 4月      | 第15回クリティカルパス実践セミナーin熊本  |
| 6月         | <b>第2回医療マネジメント学会学術総会</b><br><b>「さらなる医療の質の向上をめざして</b><br><b>—第2世代のクリティカルパス—</b><br><b>【6月9日～10日 熊本県立劇場</b><br><b>会長 宮崎 久義（国立熊本病院院長）】</b> | 6月      | <b>第6回医療マネジメント学会学術総会</b><br><b>「患者中心の医療を考える</b><br><b>—クリティカルパスのより良い、より広い活用法を求めて—</b><br><b>【6月18日～19日 サンポートホール高松</b><br><b>香川県民ホール</b><br><b>会長 原田 英雄（香川労災病院院長）】</b><br>書籍「クリティカルパス最近の進歩2004」発行、<br>書籍「電子カルテシステムの普及に向けて」発行 |
| 7月         | 第1回医療連携セミナー「地域医療連携の実際」  | 7月      | 第2回「DPC対応型クリティカルパス」特別セミナー、<br>雑誌「医療安全」創刊  |
| 12月        | 第2回医療連携セミナー「地域医療連携の実際（2）」   | 8月      | 第16回クリティカルパス実践セミナーin京都  |
| 2001年5月    | 第3回医療連携セミナー<br>「大学附属病院、地域医療支援病院の地域との医療連携」   | 9月      | 第10回医療連携セミナー<br>「地域医療支援病院と逆紹介」  |
| 6月         | <b>第3回医療マネジメント学会学術総会</b><br><b>「21世紀の医療サービスを考える」</b><br><b>【6月8日～9日 パシフィコ横浜</b><br><b>会長 小林 寛伊（NTT東日本関東病院院長）】</b>                       | 10月     | 第17回クリティカルパス実践セミナーin熊本、<br>書籍「研修医のためのクリティカルパス活用ガイド」発行   |
| 9月         | 第4回医療連携セミナー<br>「急性期病院の外来と医療連携」  | 11月     | 第5回リスクマネジメント・セミナー、<br>「リスクマネジメントの新たな展開」   |
| 10月        | 第1回リスクマネジメント・セミナー<br>「患者の安全確保をめざして」   | 2005年1月 | 第3回電子カルテセミナー<br>「DPC対応電子カルテシステム」  |
| 12月        | 第5回医療連携セミナー<br>「急性期病院の外来と医療連携（Ⅱ）」、<br>書籍「新たな医療連携の実践—その現状と方策—」発行   | 2月      | 第18回クリティカルパス実践セミナーin熊本  |
| 2002年1月    | クリティカルパスセミナー<br>「クリティカルパスの導入と展開」（京都）  | 4月      | 第19回クリティカルパス実践セミナーin熊本  |
| 3月         | 第6回医療連携セミナー「急性期病院と外来分離」   | 6月      | <b>第7回医療マネジメント学会学術総会</b><br><b>「安全かつ最良最適な医療の提供を目指して」</b><br><b>【6月24日～25日 福岡国際会議場 福岡サンパレス</b><br><b>会長 期元則（国立病院機構九州医療センター院長）】</b><br>雑誌「連携医療」創刊   |
| 5月         | 第2回リスクマネジメント・セミナー<br>「組織で取り組む医療安全」  | 7月      | 第20回クリティカルパス実践セミナーin名古屋   |
| 6月         | <b>第4回医療マネジメント学会学術総会</b><br><b>「効率的で安心できる医療を実践するために」</b><br><b>【6月28日～29日 京都都会館・京都市勤業館</b><br><b>会長 岡 隆宏（京都第一赤十字病院院長）】</b>              | 8月      | 特定非営利活動法人化  |
| 7月         | 書籍「急性期病院のあり方と外来分離」発行  | 9月      | 第11回医療連携セミナー<br>「疾病別連携と連携クリティカルパス」、<br>書籍「臨床指標の実際」発行  |
| 9月         | 第7回医療連携セミナー「疾病別連携」  | 10月     | 第3回「DPCとクリティカルパス」<br>特別セミナー「DPCと病院マシンの」   |
| 10月        | 第1回クリティカルパス実践セミナーin熊本、<br>第2回クリティカルパス実践セミナーin札幌   | 11月     | 第6回リスクマネジメント・セミナー<br>「医療安全の課題とブレイクスルー」  |
| 11月        | 第3回リスクマネジメント・セミナー<br>「リスクマネージャーの役割と分析方法論」   | 2006年1月 | 第4回電子カルテ分科会<br>「医療情報システムの標準化と情報保護」  |
| 2003年1月    | 第1回電子カルテセミナー<br>「電子カルテ導入を目指して」  | 2月      | 第21回クリティカルパス実践セミナーin熊本  |
| 2月         | 第3回クリティカルパス実践セミナーin熊本、<br>第4回クリティカルパス実践セミナーin岡山、<br>書籍「クリティカルパス最近の進歩2003」発行   | 5月      | 地域連携クリティカルパス分科会   |
| 3月         | 第5回クリティカルパス実践セミナーin横浜、  |         |   |

6月	<b>第8回日本医療マネジメント学会学術総会</b> 「医療の安全と質—医療・介護体制の改革をめぐって—」 【6月16日～17日 パシフィコ横浜 会長 高橋 俊毅（国立病院機構横浜医療センター院長）】	4月	医療福祉連携士第1期生認定
9月	雑誌「イザイ」創刊	5月	2011年度第1回医師事務作業補助者講習会(第1、2クール)
10月	第22回クテカハ <sup>®</sup> 実践セミナーin熊本	6月	<b>第13回日本医療マネジメント学会学術総会</b> 「地域で守る患者中心の医療—チーム医療と医療連携」 【6月24日～25日 京都市勧業館みやこめっせほか 会長 香川 憲造（市立福知山市民病院院長）】
11月	医療安全分科会 「カルテレビューと安全ラウンドの実践」	7月	書籍「医療安全のリーダーシップ論」発行、 2011年度医療福祉連携講習会（第1クール）
2007年2月	平成18年度第2回クテカハ <sup>®</sup> 実践セミナーin熊本	8月	2011年度医療福祉連携講習会（第2、3クール）
5月	平成19年度第1回地域連携クテカハ <sup>®</sup> 分科会 「地域連携クリティカルパスの効果的活用を目指して」	9月	2011年度医療福祉連携講習会（第4クール）
6月	日本学術会議協力学術研究団体指定	10月	2011年度第2回医師事務作業補助者講習会（第1クール）、 2011年度第1回医療安全分科会
7月	<b>第9回日本医療マネジメント学会学術総会</b> 「医療のより良い提供体制とより良い利用方法を求めて— —限りある医療資源を有効利用するために—」 【7月13日～14日 グランドプリンスホテル新高輪 国際館パミール 会長 落合 慈之（NTT東日本関東病院院長）】	12月	2011年度医療福祉連携講習会（第5クール）、 2011年度第2回医師事務作業補助者講習会（第2クール）
9月	平成19年度第1回クテカハ <sup>®</sup> 実践セミナーin熊本	2012年2月	2011年度第1回クテカハ <sup>®</sup> 実践セミナーin大阪、 2011年度第1回医療連携分科会
11月	平成19年度第1回医療安全分科会 「チームで取り組む医療安全」	6月	2012年度第1回医師事務作業補助者講習会（第1クール）
2008年2月	平成19年度第2回クテカハ <sup>®</sup> 実践セミナーin熊本、 平成19年度第2回地域連携クテカハ <sup>®</sup> 分科会 「脳卒中、がん、糖尿病、急性心筋梗塞における現状と課題」	7月	2012年度第1回医師事務作業補助者講習会（第2クール）、 2012年度医療福祉連携講習会（第1クール）
5月	書籍「5日間で学ぶ 医療安全超入門」発行	8月	2012年度医療福祉連携講習会（第2、3クール）
6月	<b>第10回日本医療マネジメント学会学術総会</b> 「安全・安心・信頼の医療 ～未来につづく地域医療連携～」 【6月20日～21日 名古屋国際会議場 会長 稲垣 春夫（トヨタ記念病院院長）】	9月	2012年度医療福祉連携講習会（第4クール）
7月	平成20年度第1回クテカハ <sup>®</sup> 実践セミナーin神戸	10月	<b>第14回日本医療マネジメント学会学術総会</b> 「地域医療の復興と絆—チーム医療と地域連携をさらに進める —ヒューマンネットワーク作りを目指して—」 【10月12日～13日 アルカスSASEBOほか 会長 江口 勝美 （佐世保市立総合病院 病院事業管理者兼病院院長）】
9月	平成20年度第2回クテカハ <sup>®</sup> 実践セミナーin熊本、 平成20年度第1回地域連携クテカハ <sup>®</sup> 分科会 「地域医療連携と脳卒中における 地域連携クテカハ <sup>®</sup> の現状と課題」	11月	2012年度第2回医師事務作業補助者講習会（第1クール） 2012年度医療安全分科会、 2012年度第2回医師事務作業補助者講習会（第2クール）
10月	平成20年度第1回医療連携分科会 「医療計画を理解する ～これからの地域医療連携の展望と課題」	12月	2012年度医療福祉連携講習会（第5クール）
11月	平成20年度第1回医療安全分科会 「医療安全はどこへ向かうのか —いま注目すべき症例検討会と医療AI—」	2013年2月	2012年度クテカハ <sup>®</sup> 実践セミナーin下関、 2012年度医療連携分科会
2009年2月	2008年度第3回クテカハ <sup>®</sup> 実践セミナーin熊本、 2008年度第2回地域連携クテカハ <sup>®</sup> 分科会 「がんの地域連携クテカハ <sup>®</sup> の実践と課題」	6月	<b>第15回日本医療マネジメント学会学術総会</b> 「とりもどそう あたごの故郷を —地域との協働で拓く医療の未来—」 【6月14日～15日 マリオス（盛岡市民文化ホール）ほか 会長 望月 泉（岩手県立中央病院院長）】
6月	<b>第11回日本医療マネジメント学会学術総会</b> 「新しい医療連携構築への展開 —医療・保健・福祉の地域活性化をめざして—」 【6月12日～13日 長崎ブリックホールほか 会長 米倉 正大（国立病院機構長崎医療センター院長）】	7月	2013年度第1回医師事務作業補助者講習会（第1クール） 書籍「ねころんで読める WHO患者安全カリキュラムガイド」発行、 2013年度第1回医師事務作業補助者講習会（第2クール）、 2013年度医療福祉連携講習会（第1クール）
8月	2009年度第1回クテカハ <sup>®</sup> 実践セミナーin札幌	8月	2013年度医療福祉連携講習会（第2クール）
11月	2009年度第1回医療安全分科会 医療安全の基礎、信頼のコミュニケーションのすべて」、 2009年度第1回電子化分科会 「地域医療ネットワークのIT化 —地域医療連携の現状とこれからのIT化の展望を問う!」、 2009年度第1回医療連携分科会 「医療連携における薬剤情報ならびに物流を考える」	9月	2013年度医療福祉連携講習会（第3、4クール）
2010年2月	2009年度第2回クテカハ <sup>®</sup> 実践セミナーin滋賀	10月	2013年度第1回クテカハ <sup>®</sup> 実践セミナーin青森
5月	2010年度第1回医師事務作業補助者講習会(第1、2クール)、 書籍「がん地域連携クリティカルパス —がん医療連携とコーディネート機能—」発行	11月	2013年度医療安全分科会、 2013年度第2回医師事務作業補助者講習会(第1、2クール)、 2013年度医療福祉連携講習会（第5クール）
6月	<b>第12回日本医療マネジメント学会学術総会</b> 「チームでめざすこれからの医療 —良質で安全な医療サービスの提供のために—」 【6月11日～12日 札幌コンベンションセンターほか 会長 秦 温信（札幌社会保険総合病院院長）】	2014年2月	2013年度医療連携分科会
7月	2010年度医療福祉連携講習会（第1クール）	5月	2014年度第1回クテカハ <sup>®</sup> 実践セミナーin鹿児島、 2014年度第1回医師事務作業補助者講習会（第1クール）
8月	2010年度医療福祉連携講習会（第2クール）	6月	<b>第16回日本医療マネジメント学会学術総会</b> 「楽しく働くために —医療の進むべき姿を求めて—」 【6月13日～14日 岡山コンベンションセンターほか 会長 青山 興司 （国立病院機構岡山医療センター名誉院長）】
9月	2010年度医療福祉連携講習会（第3、4クール）	7月	2014年度医療福祉連携講習会（第1クール） 書籍「医療を管理する 安全を測る」発行、 2014年度第1回医師事務作業補助者講習会（第2クール）、 2014年度医療福祉連携講習会（第2クール）
10月	2010年度第1回クテカハ <sup>®</sup> 実践セミナーin仙台 2010年度医療福祉連携講習会（第5クール）、 2010年度第1回医療安全分科会 「医療安全のための根本原因分析とチーム医療のスキル」	8月	2014年度医療福祉連携講習会（第3クール）
11月	2010年度第2回医師事務作業補助者講習会(第1、2クール)、 2010年度第1回医療連携分科会	9月	2014年度医療福祉連携講習会（第4クール）
2011年1月	2010年度第2回クテカハ <sup>®</sup> 実践セミナーin岡山	10月	2014年度医師事務作業補助者指導者養成講習会（第1クール）
		11月	2014年度医療安全分科会、 2014年度医師事務作業補助者指導者養成講習会（第2クール）、 2014年度医療福祉連携講習会（第5クール）
		2015年2月	2014年度医療連携分科会
		5月	2015年度医療福祉連携講習会（第1クール）、 2015年度第1回医師事務作業補助者講習会（第1クール）
		6月	<b>第17回日本医療マネジメント学会学術総会</b> 「医療における不易流行 ～変わらないもの、変わるもの～」 【6月12日～13日 グランキューブ大阪（大阪国際会議場） 会長 山根 哲郎 （パナソニック健康保険組合松下記念病院院長）】
			2015年度第1回医師事務作業補助者講習会（第2クール）

7月	書籍「ストレス要因別 「防げたはず」のエラーが起こる瞬間」発行、 2015年度医療福祉連携講習会（第2クール）	8月	書籍「臨床事例で学ぶコミュニケーションエラーの “心理学的”対処法」発行、 2019年度医療福祉連携講習会（第3クール）
8月	2015年度医療福祉連携講習会（第3、4クール）	9月	2019年度医療福祉連携講習会（第4クール）
10月	2015年度医師事務作業補助者指導者養成講習会（第1クール）	10月	2019年度医師事務作業補助者指導者養成講習会（第1クール）
11月	2015年度医療福祉連携講習会（第5クール）、 2015年度医師事務作業補助者指導者養成講習会（第2クール）、 2015年度医療安全分科会	11月	2019年度医師事務作業補助者指導者養成講習会（第2クール）
2016年2月	2015年度医療連携分科会、 2015年度クリティカル実践セミナーin山台	12月	2019年度医療福祉連携講習会（第5クール）
4月	<b>第18回日本医療マネジメント学会学術総会</b> 「明るい病院改革 ～改善とイノベーションで切り拓く明日の最適医療～」 【4月22日～23日 福岡国際会議場 福岡サンパレス 会長 田中 二郎（飯塚病院名誉院長）】	2020年1月	2019年度医療安全分科会
6月	2016年度医療福祉連携講習会（第1、2クール）、 2016年度医師事務作業補助者講習会（第1クール）	2月	2019年度クリティカルバスワークショップ、 2019年度医療連携分科会
7月	2016年度医療福祉連携講習会（第3クール）、 2016年度医師事務作業補助者講習会（第2クール）	10月	<b>第22回日本医療マネジメント学会学術総会</b> 「病院ビッグデータ革命 ～データ活用による「医療の 質」「医療・介護連携」の飛躍（Leap）を求めて～」 【10月6日～7日 みやこめッセ（京都市勤業館）ほか 会長 三木 恒治（済生会滋賀県病院院長）】 書籍「医療安全研修テーマ・実践例集 研修が活性化する計画から実施のコツまで」発行
8月	2016年度医療福祉連携講習会（第4クール）	2021年7月	<b>第23回日本医療マネジメント学会学術総会</b> 「今、医療・介護に大切なこと～変革に挑戦する～」 【7月15日～30日 完全Webオンデマンド配信 会長 亀山 雅男 （社会医療法人生長会ヘルランド総合病院理事長）】
9月	書籍「そのときどうする！？ 予期せぬ急変・死亡時の現場対応マニュアル」発行	9月	2021年度医療福祉連携講習会（第1クール）
10月	2016年度医師事務作業補助者指導者養成講習会（第1クール）、 2016年度医療福祉連携講習会（第5クール）	10月	2021年度医療福祉連携講習会（第2クール）
11月	2016年度医師事務作業補助者指導者養成講習会（第2クール）、 2016年度医療安全分科会	11月	2021年度医療福祉連携講習会（第3クール）
2017年2月	2016年度医療連携分科会	2022年1月	2021年度医療福祉連携講習会（第4クール）
5月	2017年度医師事務作業補助者講習会（第1クール）	5月	2021年度医療福祉連携講習会（第5クール前期）
6月	2017年度医師事務作業補助者講習会（第2クール）	7月	<b>第24回日本医療マネジメント学会学術総会</b> 「持続可能な地域医療を目指して ～機能分化・連携と人材マネジメント～」 【7月8日～9日 神戸ポートピアホテル 神戸国際会議場 会長 大西 祥男（地方独立行政法人加古川市民病院機構 理事長 兼 加古川中央市民病院院長）】
7月	2017年度医療福祉連携講習会（第1クール）、 <b>第19回日本医療マネジメント学会学術総会</b> 「地域を守るあたたかな医療 ～患者・職員の満足をめざして～」 【7月7日～8日 山台国際センター 会長 田所 慶一 （国立病院機構山台医療センター名誉院長）】 書籍「ガマンしない、させない！ 院内暴力対策「これだけは」」発行	11月	2021年度医療福祉連携講習会（第5クール後期）
8月	2017年度医療福祉連携講習会（第2、3クール）	2023年2月	2022年度地域連携分科会
10月	2017年度医療福祉連携講習会（第4クール）、 2017年度医師事務作業補助者指導者養成講習会（第1クール）	6月	<b>第25回日本医療マネジメント学会学術総会</b> 「『病院医療の展望』～「パンデミック・災害と BCP」から「求められる医療」へ～」 【6月23日～24日 パシフィック横浜 会長 山本 登 （横浜メディカルグループ菊名記念病院理事長）】
11月	2017年度医師事務作業補助者指導者養成講習会（第2クール）	7月	書籍「医療・看護現場の心理的安全性のすすめ」発行
12月	2017年度医療福祉連携講習会（第5クール）	8月	2023年度医療福祉連携講習会（第1クール）
2018年1月	2017年度医療安全分科会	9月	2023年度医療福祉連携講習会（第2クール）
2月	2017年度医療連携分科会	10月	2023年度医療福祉連携講習会（第3クール） 2023年度医師事務作業補助者指導者養成講習会（第1クール）
6月	<b>第20回日本医療マネジメント学会学術総会</b> 「信頼-地域に根ざした強いチーム力を培う-」 【6月8日～9日 ニトリ文化ホールほか 会長 磯部 宏（KKR札幌医療センター病院長）】 2018年度医療福祉連携講習会（第1クール）		
7月	書籍「患者・家族の意思決定、現場の判断を支える “やさしい”臨床倫理フレームワーク」発行		
8月	2018年度医療福祉連携講習会（第2クール）		
9月	2018年度医療福祉連携講習会（第3、4クール）		
10月	2018年度医師事務作業補助者指導者養成講習会（第1クール）		
11月	2018年度医療福祉連携講習会（第5クール）		
12月	2018年度医師事務作業補助者指導者養成講習会（第2クール）		
2019年1月	2018年度医療安全分科会、 2018年度クリティカルバスワークショップ		
2月	2018年度医療連携分科会		
6月	2019年度医療福祉連携講習会（第1、2クール）		
7月	<b>第21回日本医療マネジメント学会学術総会</b> 「私たちの働き方改革 ～良質で成熟した日本の医療をめざして～」 【7月19日～20日 名古屋国際会議場 会長 絹川 常郎（地域医療機能推進機構中京病院院長）】		

## 学会の活動

- 学術総会の開催
- 日本医療マネジメント学会雑誌の発行（5冊／年）
- News Letterの発行
- 書籍発行
- 地域連携分科会、医療安全分科会、医療福祉連携講習会、  
医師事務作業補助者指導者養成講習会、  
クリティカルバスワークショップなどの開催
- 保健医療政策に対する関係機関への働きかけ
- 委員会の開催 ●支部学術集会の開催

**第26回日本医療マネジメント学会学術総会**  
2024年6月21日（金）～22日（土）  
福岡国際会議場、福岡サンパレス  
会長：中房 祐司  
（福岡赤十字病院院長）

日本医療マネジメント学会への入会のご案内（郵送または FAX による申込方法）

※ホームページからの入会方法は <http://jhm.umin.jp/> をご覧下さい。

**入会申込(一般正会員及び賛助会員):入会されますと退会の申し出があるまで自動継続になります。**

◎**一般正会員** 学会の趣旨に賛同される個人

**年会費 医師・歯科医師 10,000 円**

**医療スタッフ・福祉・一般 7,000 円**

**主な特典**

・日本医療マネジメント学会雑誌（年間 5 冊出版）、News Letter 提供

**手続き**

一般正会員のお申込は、次頁の一般正会員入会申込書を記入し、郵送または FAX にて学会事務局までお送り下さい。

入会申込書受理後、学会事務局より年会費の払込取扱票をお届けしますので、郵便局またはコンビニエンスストアでお振り込み下さい。年会費のご入金確認後、学会会員番号通知をお届けします。学会会員番号通知がお手元に届きましたら、手続きは完了です。

メールアドレスをご登録頂いた方には、年会費のご入金確認後、メールにて会員マイページのご案内をお届けします。会員マイページにログイン後、学会会員番号をご確認頂けます。

なお、一般正会員の入会申込は学会ホームページからも可能です。

※入会申込を頂いてから、学会会員番号通知がお手元に届くまで 10 日ほどかかります。

◎**賛助会員** 学会の趣旨に賛同される企業など

**年会費 100,000 円**

**主な特典**

・一般正会員 1 名と同等の特典  
・学会主催展示会で優先的に展示場所割当

**手続き**

賛助会員のお申込は、別途所定の申込用紙がございますので学会事務局までご連絡下さい。

※ 会計年度は 4 月～翌年 3 月です。年度途中の入会であっても年会費全額を納入して頂きます。

※ 入金された日が入会日となります。

※ 一度入金された年会費は返金できませんので、ご注意ください。

※ 過去に本学会会員となられ、年会費の滞納を理由に退会された方が、再入会を希望される場合は、滞納分年会費をお支払い頂く必要がございます。入会申込書受理後、学会事務局より滞納分と新規入会分を合わせた年会費の払込取扱票をお届けいたします。

※ 退会希望の場合、退会希望年度の末日(3月31日必着)までに退会手続きをして下さい。



第26回  
日本医療マネジメント学会  
学術総会

The 26th Annual Meeting of the Japan  
Society for Health Care Management



信頼と調和による医療マネジメント  
～地域と共に質の高い、安全な医療をつくる～

会期

2024年6月21日(金)・22日(土)

会場

福岡国際会議場 福岡サンパレス

〒812-0032 福岡市博多区石城町2-1

〒812-0021 福岡市博多区築港本町2-1

会長

中房 祐司 (福岡赤十字病院 院長)

演題申込受付期間

2023年12月1日(金)10:00～2024年1月31日(水)

事前参加登録受付期間

2023年12月1日(金)10:00～2024年5月17日(金)

招待講演

西高辻 信良

太宰府天満宮 最高顧問



招待講演

大竹 文雄

大阪大学感染症  
総合教育研究拠点 特任教授



招待講演

西成 活裕

東京大学大学院  
工学系研究科 教授



学術総会事務局: 福岡赤十字病院 〒815-8555 福岡県福岡市南区大楠3-1-1 TEL: 092-235-4587 FAX: 092-522-3066 (代表)

学術総会運営事務局: 株式会社コングレ 〒810-0001 福岡県福岡市中央区天神1-9-17 福岡天神フコク生命ビル

TEL: 092-718-3531 FAX: 092-716-7143 E-mail: jhm2024@congre.co.jp

<https://www.congre.co.jp/jhm2024/>



第 17 回 日本医療マネジメント学会 愛知県支部学術集会  
プログラム・抄録集

発 行 2023 年 12 月

幹事病院 名古屋鉄道健康保険組合 名鉄病院

# チーム医療支援システム 「Kokuran Doc.」



## チーム医療をトータルサポート

NST

褥瘡

嚥下

RST

### ◆ Check !

#### 「ダッシュボード機能」

データを自動グラフ化。  
傾向・対策や問題点を一目で把握。「ライセンスフリー」で利用可能。  
他、多彩な機能を搭載。



#### 「詳細分析」

グラフをクリックすると各種グラフの元データを確認可能。対象患者様を選択し、より詳細な患者様情報を分析。



日付	患者名	介入計画	状況
7/07/11	患者 テスト6	栄養管理計画書	問題なし
7/07/12	患者 テスト7	栄養管理計画書	問題なし
7/07/13	患者 テスト8	栄養管理計画書	問題なし
7/07/14	患者 テスト9	栄養管理計画書	問題なし
7/07/15	患者 テスト10	栄養管理計画書	問題なし
7/07/01	患者 テスト11	栄養管理計画書	問題なし
7/07/02	患者 テスト12	栄養管理計画書	問題なし
判定 軽度栄養不良 (15)			
7/07/09	患者 テスト13	栄養管理計画書	軽度栄養不良
7/07/09	患者 テスト14	栄養管理計画書	軽度栄養不良
7/07/10	患者 テスト15	栄養管理計画書	軽度栄養不良
7/07/01	患者 テスト16	栄養管理計画書	軽度栄養不良
7/07/02	患者 テスト17	栄養管理計画書	軽度栄養不良
7/07/09	患者 テスト18	栄養管理計画書	軽度栄養不良
7/07/09	患者 テスト19	栄養管理計画書	軽度栄養不良

株式会社グリーム

株式会社グリーム

本社 : 福岡県北九州市小倉北区弁天町1番8号  
東京支店 : 東京都港区港南1丁目8番23号

Shinagawa HERAT15階

TEL : 093-583-1002 FAX: 093-591-4055  
Web : <https://www.gleam-kokura.co.jp>

# 創立100年を 超える企業が、 100年に一度の 水害のために できること。

特設サイトは  
こちら



2000年、東海豪雨。当時は「前例のない豪雨」と呼ばれる大雨に豊和工業も大きな被害を受けました。この経験を活かし開発したのが、簡単な操作で素早く浸水をシャットアウトする「ミズガードシリーズ」。地下街、マンション、オフィスビル、ショッピングセンターなどの浸水被害から、大切な生活をまもります。

## ミズガードシリーズ



防水自動ドア  
「アルティマ」



パネル軽量防水板  
「ミズヲトメ」



その他  
防水板・防水扉

人々の幸せな社会生活を「まもる」

# Howa

豊和工業株式会社

お問合せ：建材事業部 052-408-1163